

尼崎市 子ども会議  
- ティーンズミーティング -  
報告書

平成 18 年 11 月

尼 崎 市

# 目 次

第1章 概要	1
1. 目的と趣旨	1
2. 内容	1
1) ティーンズミーティング(子ども会議)	1
(1) 実施方法	1
(2) 実施状況	3
2) ティーンズミーティング(高校生会議)	4
(1) 実施方法	4
(2) 実施状況	5
第2章 結果	6
1. ティーンズミーティング(子ども会議)結果	6
1) 第1部「子どもどうしの関係」	8
2) 第2部「子どもと大人の関係」	22
3) 第3部「よりよい社会をめざして」	37
4) 共通の質問項目以外の発言内容	50
5) 参加した子どもたちの感想	55
2. ティーンズミーティング(高校生会議)結果	59
1) 第1部「仲間どうしの関係について」	60
2) 第2部「大人との関係について」	63
3) 第3部「よりよい社会をめざして」	66
4) 共通の質問項目以外の発言内容	67

# 第1章 概要

## 1. 目的と趣旨

尼崎市では、平成18年度に、学識経験者、関係団体、市民等で構成する「尼崎市子どもに関する条例等検討委員会」を設置し、子どもの基本的人権を尊重する視点を基本に、尼崎市の子どもの健やかな育ち、地域社会のあり方等に関して、子どもに関する条例の制定も視野に入れた検討を進めている。

この検討にあたり、子どもの育ちに関する問題等に関して、当事者である子どもの立場から、年齢層に応じた意見や考えを幅広く聴き、それらを検討過程の中で活かしていくため、「尼崎市子ども会議 - ティーンズミーティング -」を実施した。また、実施にあたっては、市内で、地域に偏りがないように配慮し、小学生、中学生、高校生から意見や考えを聴くこととした。

## 2. 内容

「尼崎市子ども会議 - ティーンズミーティング -」には、小学生と中学生を対象とした「ティーンズミーティング(子ども会議)」と、高校生を対象とした「ティーンズミーティング(高校生会議)」がある。

### 1) ティーンズミーティング(子ども会議)

#### (1) 実施方法

すべての公立小学校および公立中学校の児童・生徒を対象として、中学校区ごとに、校区内の小学生(5、6年生)・中学生を合わせて20人程度のグループをつくることとし、意見や考えを聴いた。

参加者の選出は、各学校からの推薦によるものとし、参加者には、会議の趣旨とともに、テーマや話し合いの視点(各テーマに応じた質問等)を記載した案内文(準備シート)を事前に配付し、当日までに意見を整理したうえで、会議に参加することを基本スタイルとした。

会議は、3部構成とし、「どうすれば誰もが、心地よく安心して元気に、この社会で生活を送れるか」を中心に、テーマに沿って話し合った。また、会議をスムーズに進めるため、ファシリテーターが進行した。

#### ファシリテーター

会議などの場が効果的に展開するように「促進」「介在」(ファシリテーション)する人を意味する。

「尼崎市子ども会議 - ティーンズミーティング -」において、ファシリテーターは、参加者が意見を出したり話し合う場(会議)を仕切り、事前に合意された会議のルールに沿って、円滑に会議を進めるために、会議を運営する役割を果たした。(ファシリテーターは以下の3名)

- ・岡本晴美 佛教大学社会福祉学部社会福祉学科講師(子ども会議担当)
- ・麻田知寿子 児童カウンセラー・大阪府立芦間高校非常勤講師(子ども会議・高校生会議担当)
- ・原田めぐみ 児童カウンセラー(子ども会議担当)

## 構成・タイムテーブル

オリエンテーション・自己紹介			15分程度
第1部	テーマ	子どもどうしの関係	40分程度
	(事前質問)	・子どもどうしをしているときで、一番楽しいと思うことは、どんなこと？ ・子どもどうしをしているときで、いやだなと思うことは、どんなこと？	
休憩			10分程度
第2部	テーマ	子どもと大人の関係	40分程度
	(事前質問)	・大人の人から言ってもらったり、してもらったりすることで、うれしいことは、どんなこと？ ・大人の人から言われたり、されたりすることで、納得がいかないことは、どんなこと？	
休憩			10分程度
第3部	テーマ	よりよい社会をめざして	40分程度
	(事前質問)	・世の中の大人の行動などを見て、感じることは？ ・なりたい大人のイメージって、どんな感じ？	

## ルール

参加者は、会議中、自由に発言できるが、発言にあたってのルール(子どもルール)をあらかじめ定めておき、ルールを守るように参加者に伝えた。また、会議に同席した大人に対しても、以下の大人ルールを守るように伝えた。

### 子どもルール

1. ここでは、自由にお話ができます。
2. ここでは、みんな対等にお話ができます。
3. 誰かがお話しているときには、一生懸命きいてください。  
次のことは守ってください。
  - ・誰かを傷つけたり、誰かが嫌な思いをするような内容の発言はしないこと。
  - ・ここで話された内容について、この会議の後に誰かを傷つけたり、嫌な思いをさせるような行動はしないこと

### 大人ルール

1. 会議中、ファシリテーター以外の大人は発言しない。
2. 会議後に、発言者の発言をもとにして責めるような言動はしない。

(2) 実施状況

平成 18 年 7 月 25 日～8 月 11 日のうち平日（午前、又は午後）に、中学校の図書室等で実施した。

参加者合計 330 人（中学生 142 人、小学生 188 人）

実施状況の詳細

実施日	中学校区	参加者数	内訳		実施日	中学校区	参加者数	内訳				
			学校名	人数				学校名	人数			
7/25 AM	園田	21	園田中	10	8/2 PM	武庫東	19	武庫東中	9			
			園田小	4				武庫東小	4			
			園田北小	4				武庫庄小	6			
			園和北小	3				小田北中	7			
7/26 AM	南武庫之荘	15	南武庫之荘中	8	8/3 AM	小田北	14	浜小	7			
			立花西小	3				8/3 PM	園田東	13	園田東中	4
			水堂小	4							園和小	5
7/27 AM	小園	22	小園中	6	8/4 AM	大成	15	園田東小	4			
			下坂部小	5				大成中	5			
			上坂部小	3				潮小	5			
			小園小	5				名和小	5			
			園田南小	3				小田南中	8			
7/28 AM	常陽	18	常陽中	6	8/4 PM	小田南	18	長洲小	4			
			武庫北小	6				清和小	3			
			武庫の里小	6				浦風小	3			
7/31 AM	武庫	18	武庫中	9	8/7 AM	大庄	18	大庄中	7			
			武庫小	4				大庄小	5			
			武庫南小	5				成文小	3			
7/31 PM	中央	17	中央中	6	8/8 AM	大庄北	17	成徳小	3			
			難波小	3				大庄北中	8			
			梅香小	3				大島小	4			
			竹谷小	5				浜田小	5			
8/1 AM	日新	20	日新中	10	8/9 AM	塚口	16	塚口中	8			
			北難波小	2				塚口小	4			
			立花南小	4				尼崎北小	4			
			七松小	4				成良中	4			
8/1 PM	若草	19	若草中	9	8/10 AM	成良	14	明城小	6			
			杭瀬小	10				金楽寺小	4			
8/2 AM	啓明	18	啓明中	9	8/11 AM	立花	18	立花中	9			
			若葉小	4				立花小	4			
			西小	5				立花北小	5			

## 2) ティーンズミーティング (高校生会議)

### (1) 実施方法

市立高等学校の生徒を対象として、20人程度のグループをつくることとし、意見や考えを聴いた。

参加者の選出は、各学校からの推薦によるものとし、参加者には、会議の趣旨とともに、テーマや話し合いの視点(各テーマに応じた質問等)を書いた案内文(準備シート)を事前に配付し、当日までに意見を整理したうえで、会議に参加することを基本スタイルとした。

会議は、3部構成とし、それぞれの部で、「どうすれば誰もが、心地よく安心して元気に、この社会で生活を送れるか」を中心に、テーマに沿って話し合った。また、会議をスムーズに進めるため、ファシリテーターが進行した。

#### 構成・タイムテーブル

オリエンテーション・自己紹介			20分程度
第1部	テーマ	仲間どうしの関係について	45分程度
	(事前質問)	・友人や、先輩・後輩との関係で、「うまくいかない」と感じることは、どのようなことですか？	
休憩			10分程度
第2部	テーマ	大人との関係について	45分程度
	(事前質問)	・大人に対して抱く不満には、どのようなものがありますか？ ・あなたが考える「自立すること」とは、どのようなことですか？	
休憩			10分程度
第3部	テーマ	よりよい社会をめざして	50分程度
	(事前質問)	・世の中の大人の行動などを見て、どのように感じますか？ ・あなたは、どのような大人になりたいですか？	

#### 会議のルール

参加者は、会議中、自由に発言できるが、発言にあたってのルール(子どもルール)をあらかじめ決めておき、ルールを守るように参加者に伝えた。また、会議に同席した大人に対しても、以下の大人ルールを守るように伝えた。

#### 子どもルール

1. ここでは、誰もが自由に発言できます。
2. ここでは、お互いに対等な立場で発言できます。
3. 誰かが発言しているときは、よく聞き、その意見を尊重しましょう。

次のことは守ってください。

- ・特定の人を中傷したり、信用を傷つけるような発言はしないこと。
- ・会議後に、ここで話し合った内容について、誰かを中傷したり、誰かの信用を傷つけるような行動はしないこと。

## 大人ルール

1. 会議中、ファシリテーター以外の大人は発言しない。
2. 会議後に、発言者の発言をもとにして責めるような言動はしない。

## (2) 実施状況

平成 18 年 9 月 10 日午後に、尼崎産業高等学校図書室で実施した。

学校名	参加者数
尼崎市立尼崎高等学校	5
尼崎市立尼崎東高等学校	4
尼崎市立尼崎産業高等学校	4
尼崎市立城内高等学校	1
合 計	14

## 第2章 結果

### 1. ティーンズミーティング(子ども会議)結果

「ティーンズミーティング(子ども会議)」は、会議に参加した子どもたちの集団特性(参加する子どもたちの学年や性別に統一性がなく、個々の会議によって様々であることなど)や、会議の場の雰囲気など、会議を構成する諸条件により、各々の会議が独立したものとして意味をなしている。しかし、ここでは、それぞれの会議で出た意見を集約したうえで、これらを総括し、会議に参加した子どもたち全体の傾向などについて結果としてまとめている。

従って、この会議の結果は、統計的な手法を用いて量的なデータとして分析する調査ではない。むしろ、統計的な手法では明らかにすることが困難な、子どもたち自身の置かれている現状をふまえた個々の思いや考えについて、具体的なかたちで浮き彫りにする質的な調査であると言える。

会議の運営は、第1部、第2部、第3部それぞれにおいて、テーマに沿った事前質問を用意し、概ねこの質問に沿って発言を得るなかで、内容を発展させていった。これらの共通の質問項目以外にも、子どもたちの発言の具体的な内容を明らかにするために、ファシリテーターが質問を投げかけたり、発言内容を聴いて「どう思うのか」を子どもたち全員に尋ねるなど、他の子どもたちと一緒に考える場面も設定するといった運営を行った。

このため、会議に参加した子どもたちの集団特性によって、その会議に個別の質問もあれば、複数の会議に共通する内容について、話し合いの場をもつことができた会議もあった。



ティーンズミーティング(子ども会議)の様子



## 1) 第1部「子どもどうしの関係」

第1部では、「子どもどうしの関係」について、事前に子どもたちに配付した「準備シート」に記載してある共通の質問として、

「子どもどうしでいるときで、一番楽しいと思うことは、どんなこと？」

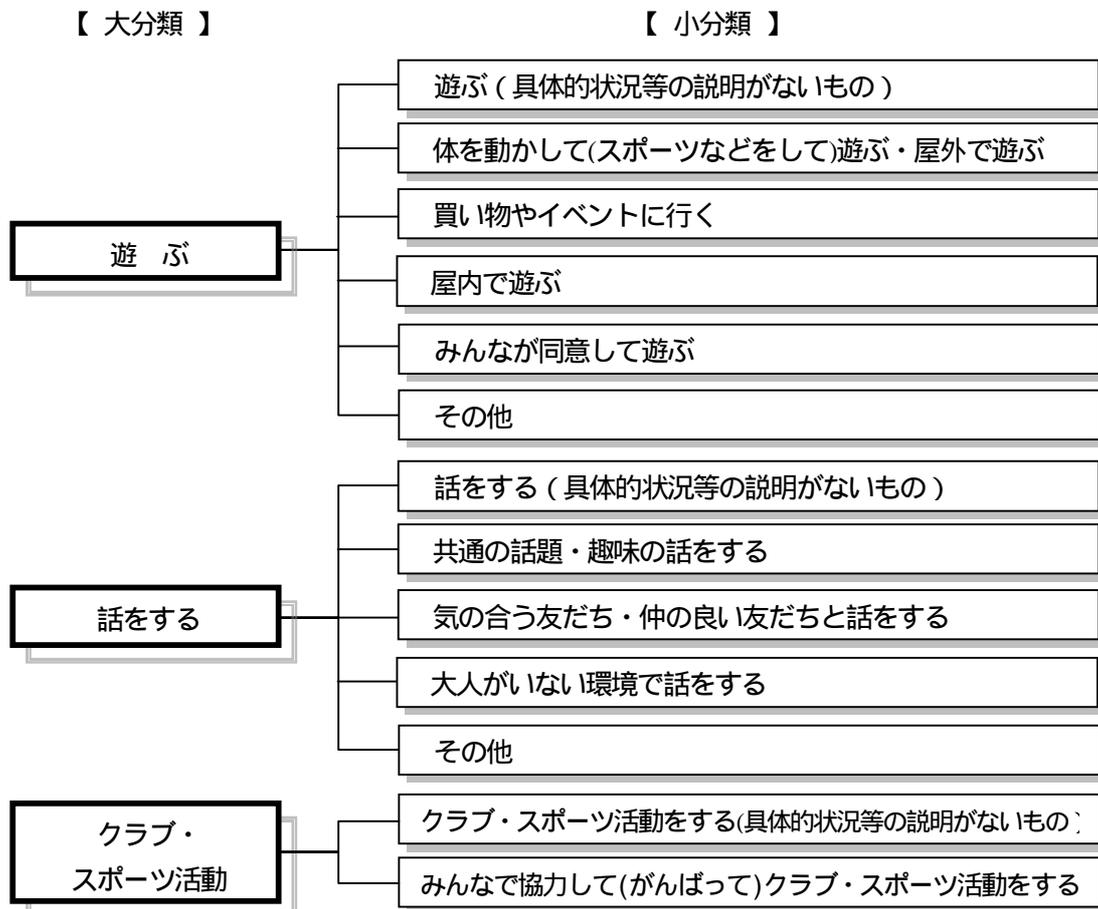
「子どもどうしでいるときで、いやだなと思うことは、どんなこと？」

の2つを置き、概ねこの質問に沿って発言を得るなかで進めていった。

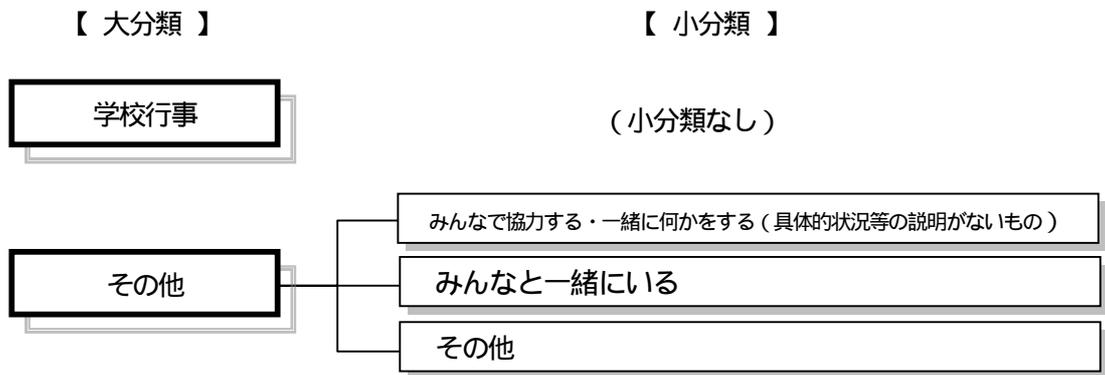
これらの質問は、同年齢、異年齢の子どもどうしが、さまざまなふれあいや、交流をするなかで、具体的にどのような体験をしているのか、そして、その体験をどのように自ら意味づけているのかを把握することを念頭に置いている。

### (1) 「子どもどうしでいるときで、一番楽しいと思うことは、どんなこと？」について

子どもたちの発言をもとに、概ね近いと考えられる種類ごとに集約を行った結果、以下のとおりの分類となった。

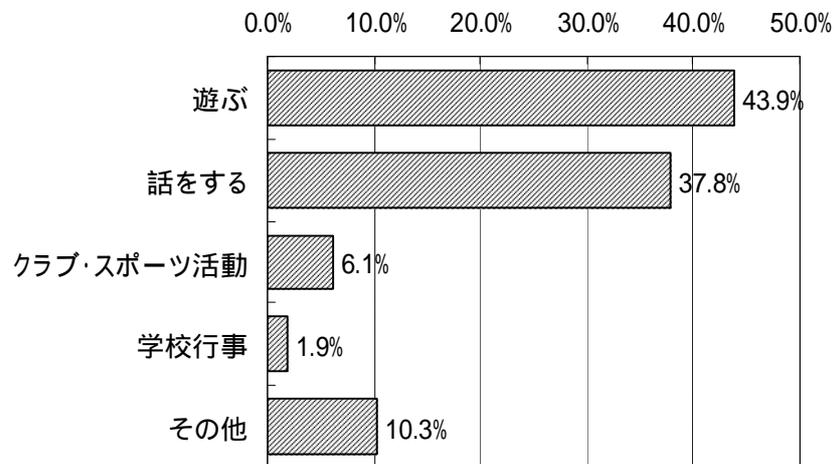


次頁へ続く



前述の分類にしたがい、集計を行った結果は以下のとおりである。

【「子どもどうしているときで、一番楽しいと思うことは、どんなこと？」の回答について 大分類】

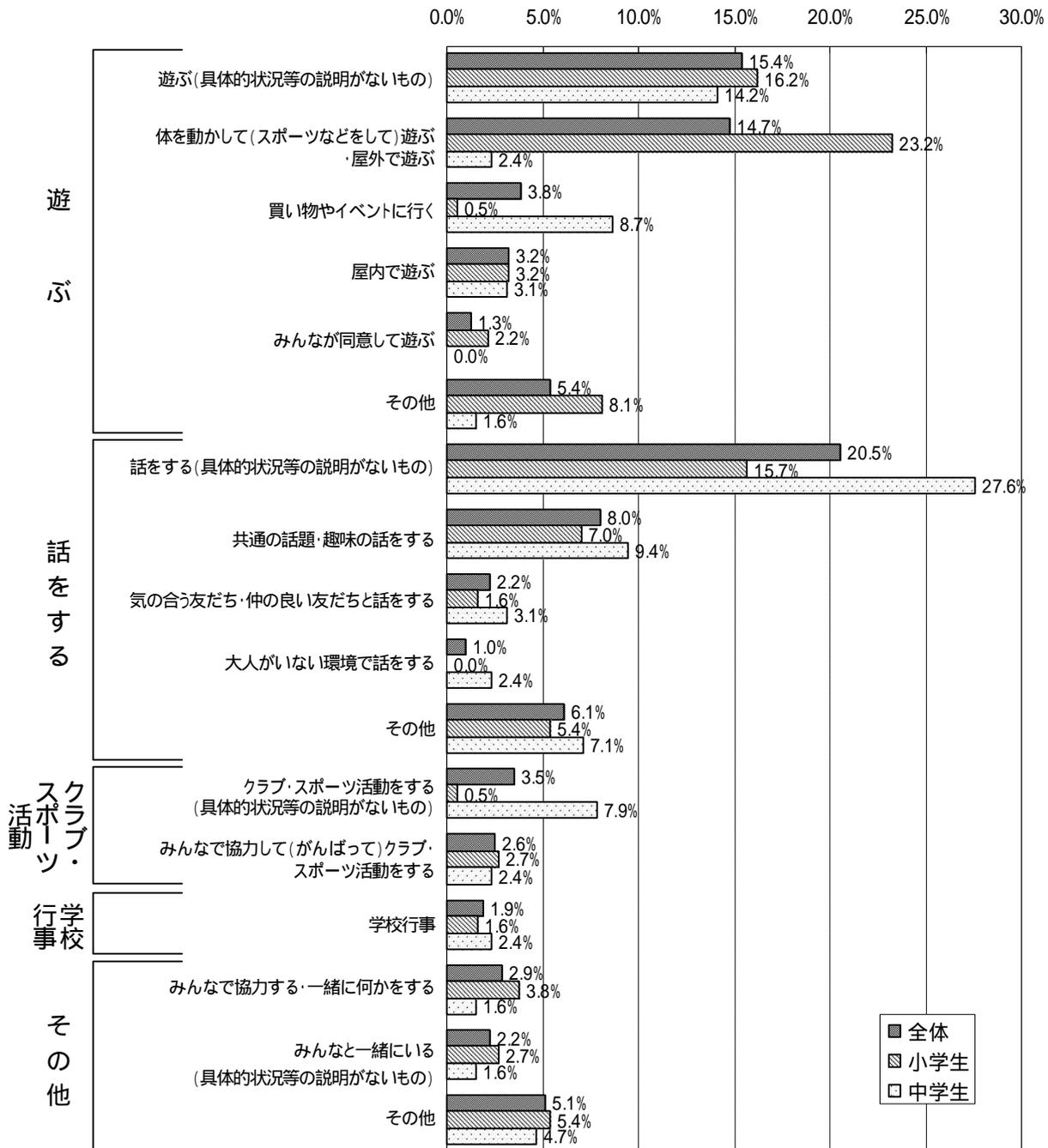


「子どもどうしているときで、一番楽しいと思うこと」についての全発言（312件）に対する割合は、大分類では、「遊ぶ」が43.9%で最も高く、次いで「話をする」37.8%、「クラブ・スポーツ活動」6.1%、「学校行事」1.9%とつづく。

次に、大分類毎に小分類の内容を小学生、中学生で分けて見ていく。

この小分類における割合は、「子どもどうしているときで、一番楽しいと思うこと」についての小学生、中学生それぞれの全発言（小学生 185 件、中学生 127 件）に対する割合となっている。

【「子どもどうしているときで、一番楽しいと思うことは、どんなこと？」の回答について 小分類】



発言の割合が高い項目を見ていくと、大分類「遊ぶ」の中では、「遊ぶ(具体的状況等の説明がないもの)」(15.4%)が最も高く、次いで僅差で「体を動かして(スポーツなどをして)遊ぶ・屋外で遊ぶ」(14.7%)となっている。

また、大分類「話をする」の中では、「話をする(具体的状況等の説明がないもの)」(20.5%)であり、これは、「子どもどうしているときで、一番楽しいと思うこと」全体を通して、最も高い割合であり、小学生、中学生ともに「友だちと話をしているときが一番楽しい」と思っていることがうかがえる。

この他に、全体を通して顕著な傾向としては、「話をする(具体的状況等の説明がないもの)」、「買い物やイベントに行く」、「クラブ活動(具体的状況等の説明がないもの)」については、中学生の発言の割合が小学生よりも高く、「体を動かして(スポーツなどをして)遊ぶ・屋外で遊ぶ」については、小学生の発言の割合が中学生を大きく上回っていることが挙げられる。

子どもたちの発言内容のうち、特徴のあるものとしては、「みんなで」、「一緒に」など、「みんなですること、できること」が楽しいという発言が目立っていることが挙げられる。また、中学生の発言の中には、大人がいない環境のなかで、「子どもどうし」で話をすることを意識していることがうかがわれるものが見られる。

## 子どもの発言内容

### 遊ぶ

小 分 類		割合
遊ぶ(具体的状況等の説明がないもの)		15.4%
小学生	・友だちと遊んでいるとき ・みんなで遊んでいるときが一番楽しい など	16.2%
中学生	・友だちと遊んでいるとき ・みんなでいろいろなことをして遊んでいるとき など	14.2%
体を動かして(スポーツなどをして)遊ぶ・屋外で遊ぶ		14.7%
小学生	・公園とかでドッジボールやサッカーをしているとき ・魚釣りが楽しい ・サッカー、バスケットボール、野球、スケート、水泳などをしているとき ・みんなで、運動場で体を動かして遊んでいるとき など	23.2%
中学生	・公園でサッカーをして遊ぶ ・プールに行く ・外で遊ぶ	2.4%
買い物やイベントに行く		3.8%
小学生	・買い物に行って、一緒に買ったこと	0.5%
中学生	・買い物をしているとき ・一緒に買い物とかに行って、おそろいで買ったこと ・梅田とか、心斎橋とかに行くこと ・Jリーグの試合を見に行ったこと など	8.7%
屋内で遊ぶ		3.2%
小学生	・友だちとゲームなどをして盛り上がっているとき ・友だちと将棋をうっているとき ・友だちと漫画を読みに行くとき など	3.2%
中学生	・子どもどうしで、家で遊んでいるとき ・ゲームセンターに行っているとき など	3.1%
みんなが同意して遊ぶ		1.3%
小学生	・誰も文句を言わずに遊んでいるとき ・友だちどうしで意見が一致して、楽しく遊んでいるとき など	2.2%
中学生の発言なし		0.0%

次頁に続く

小分類		割合
その他		5.4%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで考えた・工夫した遊びをするとき</li> <li>・自分の意見が通って、友だちと遊べたとき</li> <li>・子どもどうしでちょっとしたいはずらをしているとき</li> <li>・ふざけあったりするとき</li> <li>・時間を忘れるくらい遊んでいるとき</li> </ul> など	8.1%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒いだりしているとき</li> <li>・誰かがおもしろい発言をしたとき</li> <li>・夜みんなで集まって話しているとき</li> </ul> など	1.6%

## 話をする

小分類		割合
話をする（具体的状況等の説明がないもの）		20.5%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちといろいろなことを話しするとき</li> <li>・友だちと一緒にしゃべっているときが一番楽しい</li> <li>・みんなでしゃべっているとき</li> </ul> など	15.7%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと話をしているとき</li> <li>・友だちとしゃべっていたら、だいたい楽しい</li> </ul> など	27.6%
共通の話題・趣味の話をする		8.0%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日のことで楽しかったことや、あったことを話し合ったりする</li> <li>・友だちと共通の話題で盛り上がっているとき</li> <li>・ゲームや漫画、テレビなどの話をしているとき</li> <li>・みんなで笑い芸人の話をするとき</li> </ul> など	7.0%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日あったテレビのことを一緒に話したりするとき</li> <li>・しょうもないことをきっかけに、変なネタで話しをしているとき（話している当事者にしかわからないと思うけど）</li> <li>・同じ趣味の友だちと趣味の話をしているとき</li> <li>・共通の話題（漫画とかの話）で盛り上がったとき</li> <li>・休み時間に噂話をする</li> </ul> など	9.4%
気の合う友だち・仲の良い友だちと話をする		2.2%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友だちと話をする</li> <li>・友だちと話しているとき、不安なことや悩みがなくなるから</li> <li>・自分と友だちが同じ意見で、楽しんで盛り上がっているとき</li> </ul>	1.6%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠慮せずに思い切りおしゃべりをする</li> <li>・(気の合う)友だちどうしだったら、何でも話せる</li> <li>・仲のいい友だちといろんな話をしているとき</li> </ul> など	3.1%

次頁に続く

小分類		割合
大人がいない環境で話をする		1.0%
小学生の発言なし		0.0%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもどうしてしか話せないことを話せるとき</li> <li>・大人には話せない会話をしているとき、(子どもどうしなら)いろいろな話ができる</li> <li>・友だちと一緒にいるとき、話をしているときは、親が邪魔しないから楽しい</li> <li>・友だちならば家族としゃべっているときとは違う内容で、気軽にしゃべれる など</li> </ul>	2.4%
その他		6.1%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪口を言わず、話をしているとき</li> <li>・笑い話や冗談を言い合ったりしているとき</li> <li>・友だちの家に泊まっているときに怖い話をしているとき</li> <li>・遊んでいないときに話すことより、遊んでいるときに話すことの方が楽しい など</li> </ul>	5.4%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校へ行って話すとき</li> <li>・みんなで話かはずんでいるとき</li> <li>・コンビニの前でしゃべっているとき</li> <li>・友だちと電車の中でしゃべれるとき</li> <li>・クラブ活動が終わった後にしゃべっているとき など</li> </ul>	7.1%

## クラブ・スポーツ活動

小分類		割合
クラブ・スポーツ活動をする(具体的状況等の説明がないもの)		3.5%
小学生	・野球の試合をしているとき	0.5%
中学生	・クラブ活動(テニス、野球、卓球、陸上、吹奏楽、合唱など)をしているとき	7.9%
みんなで協力して(がんばって)クラブ・スポーツ活動をする		2.6%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレーなど、みんなが力を合わせて一つのことをやること</li> <li>・みんなが協力してできるから、スポーツをしているときが楽しい</li> <li>・バレーの試合で(がんばって)勝ったとき</li> <li>・バスケットボール大会や水泳競技会で練習しているときが楽しい など</li> </ul>	2.7%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーの試合でみんなが一つになったとき</li> <li>・クラブ活動で、みんなががんばっているとき</li> <li>・バスケで、みんなががんばって勝ったとき</li> </ul>	2.4%

## 学校行事

小分類		割合
学校行事		1.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで楽しみ会などをするのが楽しい</li> <li>・修学旅行に行ったときが一番楽しかった</li> <li>・大きな行事が終わったとき（達成感）</li> </ul>	1.6%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行やイベントなどは、みんなで楽しめる</li> <li>・体育大会や合唱コンクールなどでがんばって、みんなと心がつながっていると思うときなど</li> </ul>	2.4%

## その他

小分類		割合
みんなで協力する・一緒に何かをする		2.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで一つの事をする共同作業をしているとき</li> <li>・もめごとなく、協力し合えたとき</li> <li>・子どもどうして協力しているとき、1人よりも2人の方が、達成感がある</li> <li>・行動をみんなでしているとき</li> </ul>	3.8%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの目標に向かってみんなが集中しているとき</li> <li>・みんなで共に一緒に何かをすること</li> </ul>	2.2%
みんなと一緒にいること（具体的状況等の説明がないもの）		2.2%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと一緒にいるとき</li> <li>・友だちと一緒に帰っているとき</li> <li>・初対面の人と友だちになって、友だちが増えること</li> </ul>	2.7%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと一緒にいるとき</li> <li>・大勢でいるとき</li> </ul>	1.6%
その他		5.1%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手なことができたりして、みんなに認められたとき</li> <li>・（友だちの中で）自分の意見が通ったとき</li> <li>・自分の好きなことをしているとき</li> </ul>	5.4%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に勉強するとき</li> <li>・のんびりしているとき</li> <li>・何をやっても楽しい</li> <li>・お弁当と一緒に食べること</li> </ul>	4.7%

(2)「子どもどうしているときで、いやだなと思うことは、どんなこと？」について

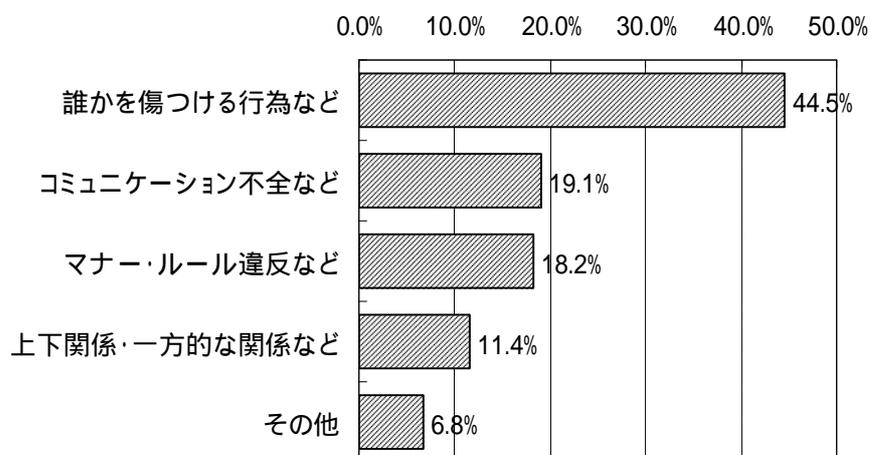
子どもたちの発言をもとに、概ね近いと考えられる種類ごとに集約を行った結果、以下のとおりの分類となった。

なお、この報告書に記載する「悪口・陰口」、「けんか」、「仲間はずれ・無視」、「いじめ」、「暴力や嫌がらせ」、「子どもどうしの圧力」に関する内容については、子どもたちの発言のなかで明確に言葉として使用されたものであるが、具体的事象を確認できたものではない。



前述の分類にしたがい、集計を行った結果は以下のとおりである。

【「子どもどうしているとき、いやだなと思うことは、どんなこと？」の回答について 大分類】

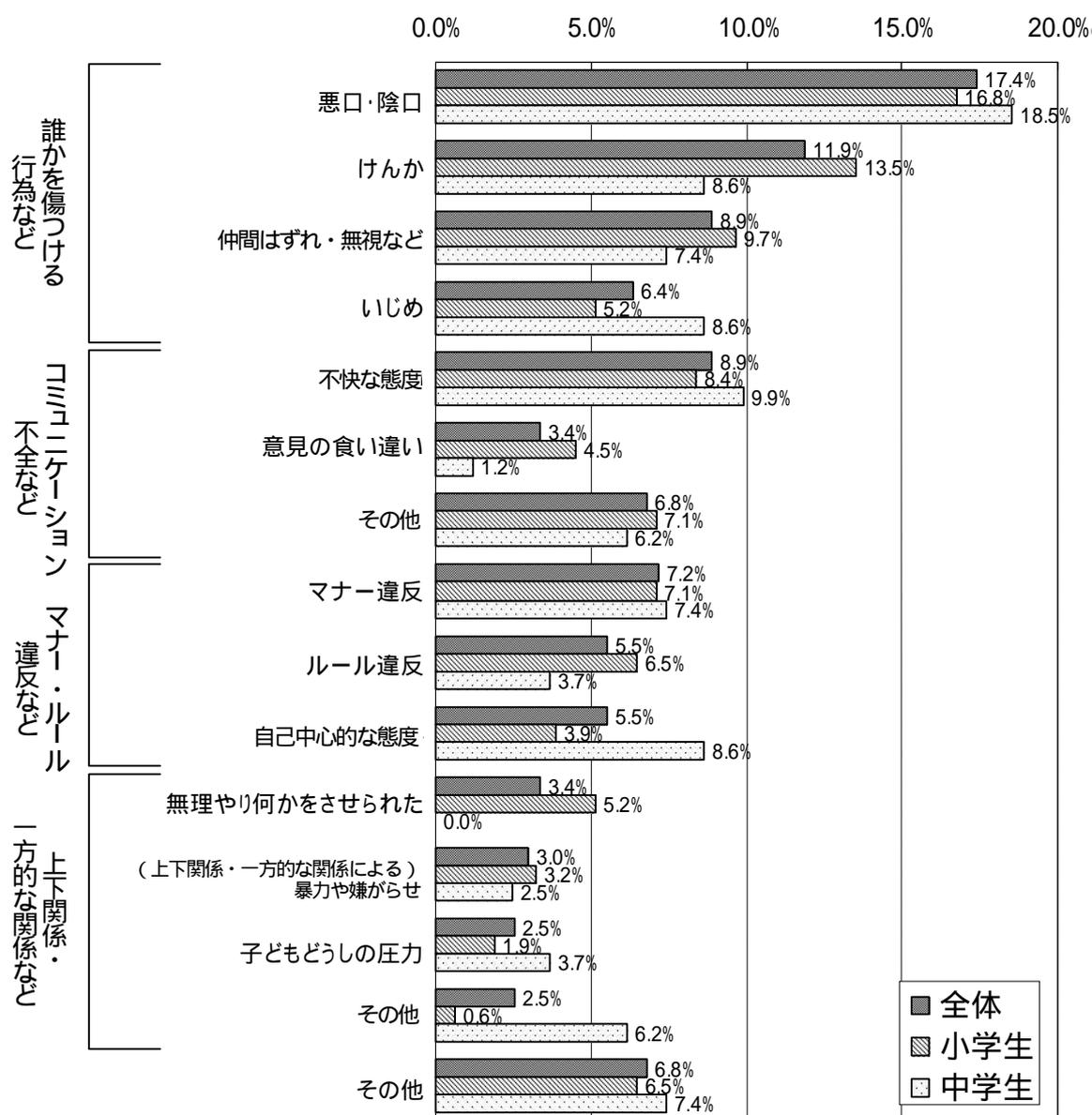


「子どもどうしているとき、いやだなと思うこと」についての全発言（236件）に対する割合は、大分類では、「誰かを傷つける行為など」が44.5%で最も高く、次いで「コミュニケーション不全など」19.1%、「マナー・ルール違反など」18.2%、「上下関係・一方的な関係など」11.4%、「その他」6.8%と続く。

次に、大分類毎に小分類の内容を小学生、中学生で分けて見ていく。

この小分類における割合は、「子どもどうして、いやだなと思うこと」についての小学生、中学生それぞれの全発言（小学生155件、中学生81件）に対する割合となっている。

【「子どもどうしているとき、いやだなと思うことは、どんなこと？」の回答について 小分類】



発言の割合が高い項目を見ていくと、全体を通して、「陰口・悪口」(17.4%)が最も高く、子どもどうしの関係のなかでは、起こりやすい傾向があることがうかがわれる。次いで、「けんか」(11.9%)、「仲間はずれ・無視など」(8.9%)とつづいており、上位3項目が大分類「誰かを傷つける行為など」に含まれている。

この他に、全体を通して顕著な傾向としては、「けんか」、「意見の食い違い」、「ルール違反」については、小学生の発言の割合が中学生を大きく上回り、「いじめ」、「自己中心的な態度」については、中学生の発言の割合が小学生よりも高いことが挙げられる。

子どもたちの発言内容のうち、特徴のあるものとしては、大分類「コミュニケーション不全など」の中で、小学生、中学生ともに、「みんなで盛り上がっているときに、つまらなさそうにされること」など、友だちどうしで「協調」、「その場の雰囲気を感じ取ること」を重視している発言が見られること、また、大分類「マナー・ルール違反など」の中でも同様に、友だちどうしで一定のルールを守ることなどについて「協調しない態度」をいやだとする発言が目立つことが挙げられる。

## 子どもの発言内容

### 誰かを傷つける行為など

小分類		割合
悪口・陰口		17.4%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さっきまで一緒に遊んでいた友だちが帰った後で、その子の悪口を言うとき</li> <li>・自分の悪口ではなく、人の悪口を聞くこと。特に、自分と仲良しの子の悪口を目の前で言われること</li> <li>・周りの人が繰り返し、変なことを言うてくること</li> <li>・目の前で内緒話をされるのを見るとき</li> </ul> など	16.8%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陰で悪口を言われていることや、いやな噂が流れていることを知ったとき</li> <li>・友だちどうして、内緒話をされること</li> <li>・悪口を聞かされること</li> <li>・友だちどうして楽しく話していたのに、誰かの悪口を言って、その話で盛り上がっていったとき</li> </ul> など	18.5%
けんか		11.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・叩くことが発端になってけんかに発展すること。</li> <li>・自分の意見を通そうとして、けんかに発展すること</li> <li>・遊びで負けた人が文句を言い始めて、けんかになること</li> <li>・悪口の延長で、けんかになったとき</li> </ul> など	13.5%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けんか、殴り合いになってしまうこと</li> <li>・けんかをしたときより、けんかをした後がいや</li> <li>・話し合いのうえで対立するのはいいけど、それが暴力に発展していくこと</li> </ul> など	8.6%
仲間はずれ・無視など		8.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を言っても無視されること</li> <li>・自分だけが友だちの話題に入れないこと</li> <li>・遊んでいるとき、人数制限をしてその遊びに入れてもらえなかったりすること</li> <li>・何もしてないのに勝手に無視されること</li> </ul> など	9.7%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間はずれにされること</li> <li>・周りに取り残されたとき</li> <li>・無視されること</li> </ul> など	7.4%
いじめ		6.4%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人数対一人でいじめやいやがらせをすること</li> <li>・人それぞれの違いとかが、いじめになったりすること</li> <li>・走るのが遅い子が、鬼ごっことかで集中的に狙われること</li> </ul> など	5.2%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けんかが起こるのは仕方がないが、それがいじめに発展すること</li> <li>・いじめ...子どもどうしてはなかなか止められない</li> <li>・いじめられている人を見たり、いじめている人を見ること</li> </ul> など	8.6%

## コミュニケーション不全など

小 分 類		割合
不快な態度		8.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話をきちんと聞かないこと</li> <li>・年下の子に注意をしたときに、口ごたえされること</li> <li>・待ち合わせの時間に遅れてきたことを謝りもしないで、平気なこと</li> <li>・自習の時間に男子がうるさくして、女子の注意を聞かないこと</li> <li>・みんなが盛り上がっているときに、しらけていること</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	8.4%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人や先生がいるときと、いないときとで、態度が変わること、変えること</li> <li>・みんなで盛り上がっているときに、つまらなさそうにされること</li> <li>・先輩が調子によって、いろいろ話しかけてきたとき</li> <li>・自分が気にしていることを言われること</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	9.9%
意見の食い違い		3.4%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見が食い違い、口論が続くこと</li> <li>・意見が合わないとき、意見が分かれてしまったとき</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	4.5%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでせっかく意見をまとめたのに、一人だけが違うことを言ってすねること</li> </ul>	1.2%
その他		6.8%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話をしているときに、割り込んでくること</li> <li>・友だちが意見をはっきり言わないこと</li> <li>・自分のことをわかってもらえないこと</li> <li>・友だちとけんかをしたとき、仲直りをしたいが仲直りの仕方がわからないのがつらい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	7.1%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だけが違う意見になり、少数意見になってしまうと言いくくなる</li> <li>・自分や相手がイライラして、話が聞けなかったとき</li> <li>・仲直りできないこと</li> <li>・会話が続かないとき</li> <li>・話題が食い違ったとき</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	6.2%

マナー・ルール違反など

小 分 類		割合
マナー違反		7.2%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名前を間違われること、呼ばれたくないあだ名で呼ばれること</li> <li>・いやな言葉遣いをされること</li> <li>・秘密にしてほしいことをばらされること</li> <li>・約束を破られること</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	7.1%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち合わせで、待たされること</li> <li>・相手の気持ちを考えずにものを言ったり、言われたりすること</li> <li>・嘘をつかれること</li> <li>・公園などでポイ捨て</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	7.4%
ルール違反		5.5%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊んでいるときに、ルールを守らないこと</li> <li>・遊んでいるときに、勝手にルールを変えること</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	6.5%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(遊びの)ルールを守らない</li> </ul>	3.7%
自己中心的な態度		5.5%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手に、自分の意見を通そうとすること</li> <li>・みんなのことを考えないこと</li> <li>・遊んでいるときに、鬼になったりとか、いやなことがあったら、やめる人</li> <li>・みんなが遊んでいるときに、一人だけ違うことをすること</li> <li>・大人に話すと、逆に「なぜ言ったのか」ということを相手から言われるのがいや</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	3.9%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝手にみんなと違うことをする人がいること</li> <li>・みんなと何かをしているときに、自分の気分によって帰ること</li> <li>・自己中心的な態度</li> <li>・大人が入ると逆にもめる事があり、「なぜ、大人を連れてくるのか」と言われる</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	8.6%

上下関係・一方的な関係など

小分類		割合
無理やり何かをさせられた		3.4%
小学生	・上下関係（力関係）があり、いやなことを無理やりやらされること ・命令されること ・（無理やり）愚痴を聞かされること など	5.2%
中学生の発言なし		0.0%
（上下関係や一方的な関係による）暴力や嫌がらせ		3.0%
小学生	・体に傷がつくような暴力や、心が傷つく暴力をふるわれること ・冗談半分でも、友だちにしつこくされること など	3.2%
中学生	・殴られたり、たたかれること など	2.5%
子どもどうしの圧力		2.5%
小学生	・みんなにつられて一緒に（物を）買ってしまったり、悪いと思いながらやってしまうことがある（例えば、花火） ・悪いと思いながら、友だちの悪口を一緒に言うこと など	1.9%
中学生	・大勢の人がいるときに、一人の人の意見に流されていく ・タバコやお酒などを誘われたときにどう断っているかわからないから、いやだった	3.7%
その他		2.5%
小学生	・上級生から「俺についてこい」みたいに命令されたいや	0.6%
中学生	・一方的に話されること ・「上から目線」の態度や言葉 ・馬鹿にされること	6.2%

その他

小分類		割合
その他		6.8%
小学生	・貸してもらいたい物を貸してもらえない状態なのに、友だちが貸してくれないとき ・親の都合で、遊びが中断されること ・子どもをさらう事件とかがあるから、周りに大人がいないとき、2人くらいで遊んでいるとき、不安でこわいこと など	6.5%
中学生	・はめをはずしすぎて、限度がわからなくなる ・裏があったりすること ・殴られたので、殴り返したら、その後、集団で来られたこと など	7.4%

## 2) 第2部「子どもと大人の関係」

第2部では、「子どもと大人の関係」について、事前に子どもたちに配付した「準備シート」に記載してある共通の質問として、

「大人の人から言ってもらったり、してもらったりすることで、うれしいことは、どんなこと？」

「大人の人から言われたり、されたりすることで、納得がいけないことは、どんなこと？」

の2つを置き、概ねこの質問に沿って発言を得るなかで進めていった。

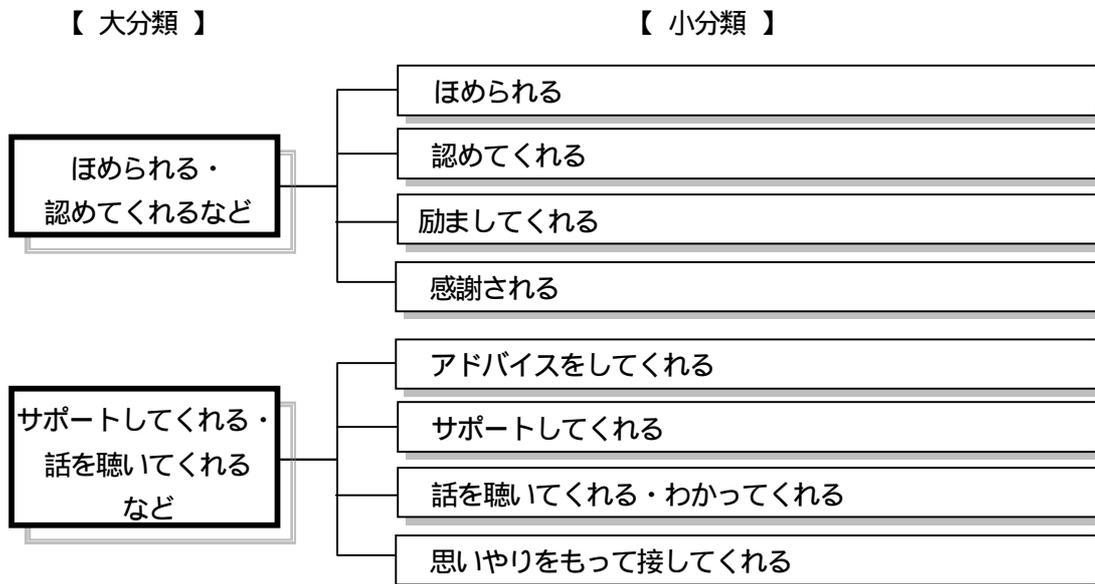
これらの質問は、子どもが大人と関わりながら、成長・発達していく過程で、具体的にどのような体験をしているのか、そして、その体験をどのように自ら意味づけているのかを把握することを念頭に置いている。

なお、第2部以降でいう「大人」は、特定の「大人」を指示することなく、「大人」という言葉から誰を思い描くかは、子どもたちに任せることとした。

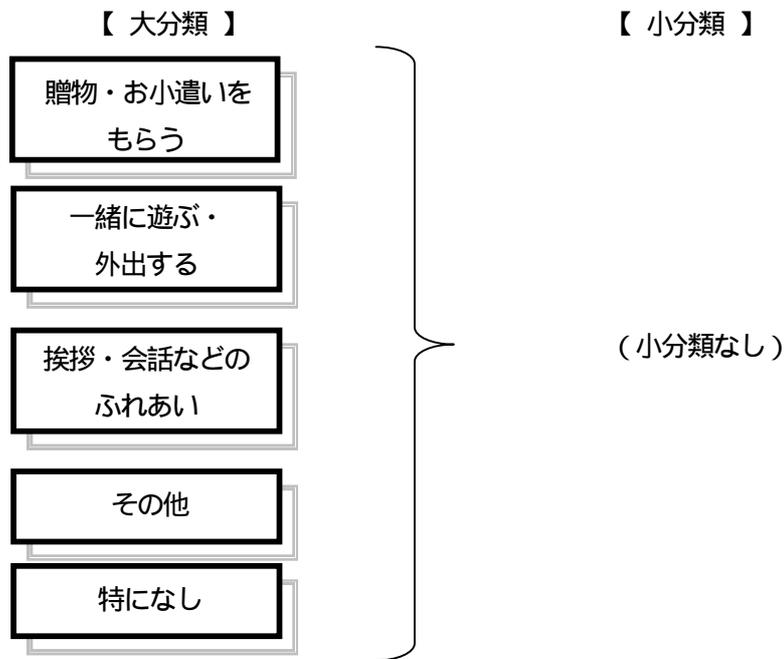
### (1) 「大人の人から言ってもらったり、してもらったりすることで、うれしいことは、どんなこと？」について

子どもたちの発言をもとに、概ね近いと考えられる種類ごとに集約を行った結果、以下のとおりの分類となった。

なお、「特になし」は、大人との関係のなかで、「うれしいこと」は「ない」という子どもの発言である。

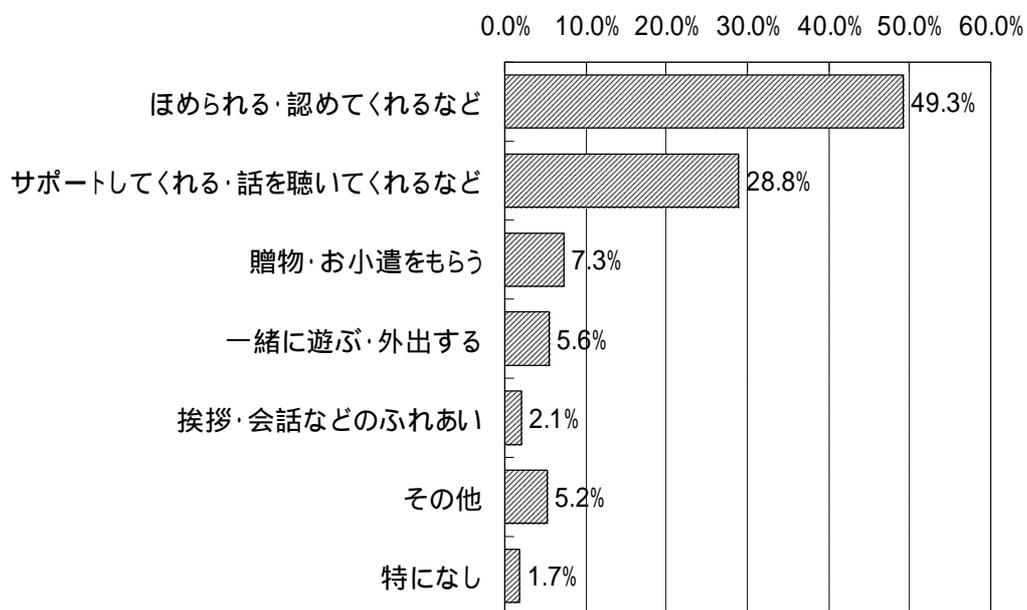


次頁へ続く



前述の分類にしたがい、集計を行った結果は以下のとおりである。

【「大人の人から言ってもらったり、してもらったりすることで、うれしいことは、どんなこと？」の回答について 大分類】

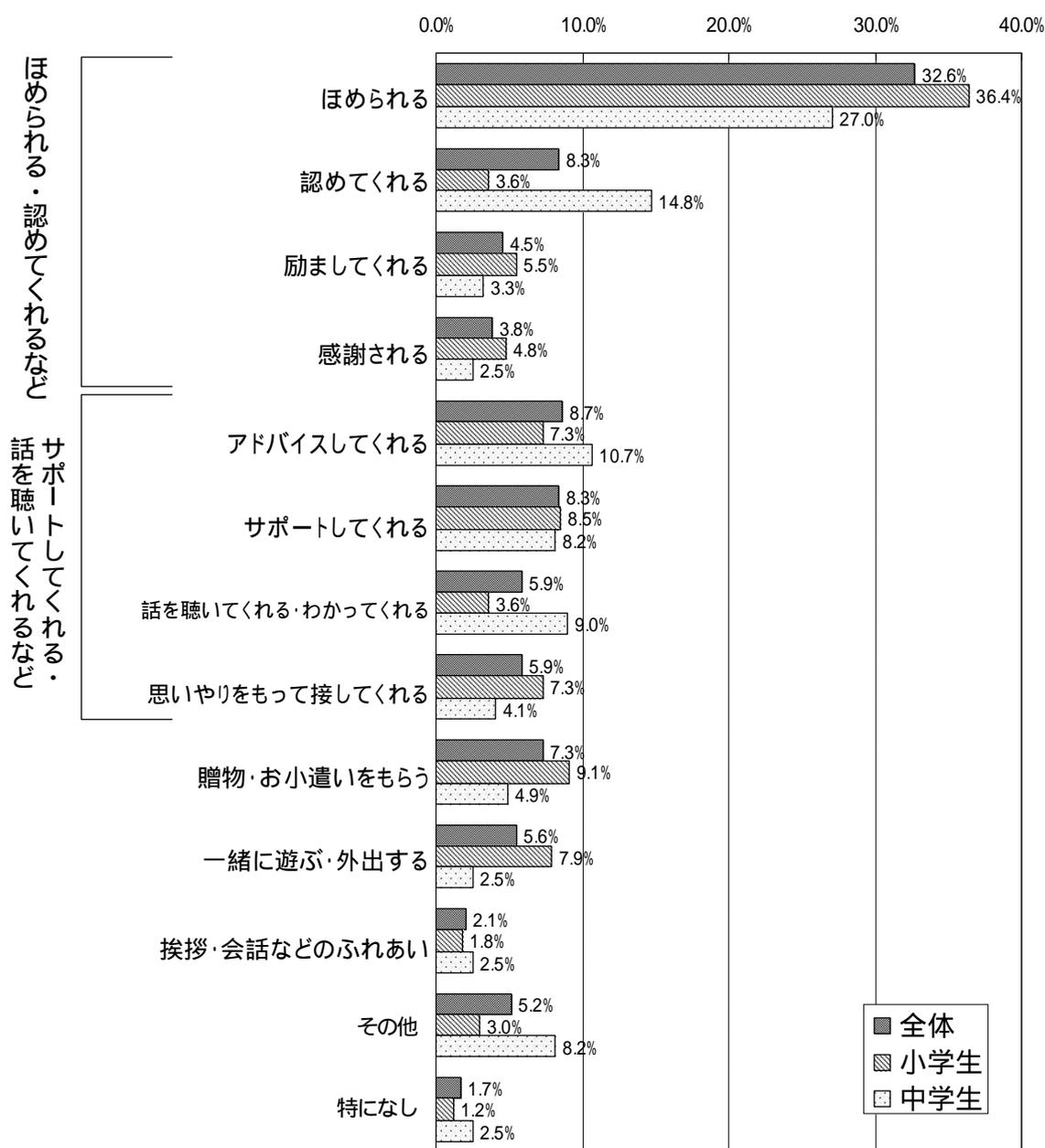


「大人の人から言ってもらったり、してもらったりすることで、うれしいこと」についての子どもたちの全発言（288件・小中学校不明1件を含む）に対する割合は、「ほめられる・認めてくれるなど」が49.3%で最も高く、次いで「サポートしてくれる・話を聴いてくれるなど」28.8%、「贈物・お小遣いをもらう」7.3%、「一緒に遊ぶ・外出する」5.6%、「挨拶・会話などのふれあい」2.1%と続く。

次に、大分類毎に小分類の内容を小学生、中学生で分けて見ていく。

この小分類における割合は、「大人の人から言ってもらったり、してもらったりすることで、うれしいこと」についての小学生、中学生それぞれの全発言（小学生 165 件、中学生 122 件）に対する割合となっている。

【「大人の人から言ってもらったり、してもらったりすることで、うれしいことは、どんなこと？」の回答について 小分類】



発言の割合が高い項目を見ていくと、全体を通して、「ほめられる」(32.6%)が最も高く、次いで、「アドバイスしてくれる」(8.7%)、「認めてくれる」、「サポートしてくれる」(8.3%)とつづいている。

この他に、全体を通して顕著な傾向としては、「贈物・お小遣いをもらう」、「一緒に遊ぶ・外出する」については、小学生の発言の割合が中学生を大きく上回っていること、また、「認めてくれる」、「話を聴いてくれる・わかってくれる」については、中学生の発言の割合が小学生を大きく上回っていることが挙げられる。

子どもたちの発言内容のうち、特徴のあるものとしては、小分類「感謝される」の中で、小学生は親などの身近な大人からの感謝、中学生は知らない大人からの感謝についての発言が見られること、また、小分類「サ

ポートしてくれる」の中では、小学生が主として「困ったとき」のサポートを挙げているのに対し、中学生の発言には、自分の行為を「支持」してもらったことをうれしいとする内容が含まれていることなどがある。

また、小学生、中学生ともに、「特になし」と発言した子どもたちも、わずかながらいたことも挙げられる。

## 子どもの発言内容

### ほめられる・認めてくれるなど

小 分 類		割合
ほめられる		32.6%
小学生	・テストやスポーツで良い成績をおさめたときに、ほめられたこと ・がんばったときに、ほめてもらった ・苦労してやったことを、ほめられたこと など	36.4%
中学生	・がんばったことをほめてくれたこと ・自分が良いことをしてほめられたこと ・対等の立場もうれしいが、目上の立場で自分の功績をほめてもらえること など	27.0%
認めてくれる		8.3%
小学生	・大人に認めてもらったとき ・自分がしたことを認めてくれたこと ・先生に頼りにしてもらったとき など	3.6%
中学生	・自分ががんばったことを認めてくれたこと ・仕事を任されること ・小さいときにできなかったことを、大きくなってできるようになり、それを認めてもらったとき ・自分を信頼してくれて、頼りにしてくれていると感じたとき など	14.8%
励ましてくれる		4.5%
小学生	・落ち込んでいたときに励ましてくれたこと ・試合の前に、お父さんに励ましてもらったとき ・通りがかりの人に「がんばっているな」と声をかけてもらったこと など	5.5%
中学生	・しんどいときとかに「がんばれ」と励ましてもらったこと ・試合の前に「がんばっておいで」と言われたこと など	3.3%
感謝される		3.8%
小学生	・お手伝いをしたときに、「ありがとう」と言ってもらえると、達成感がある ・頼まれたことをしたときに、「ありがとう、助かったわ」と言ってもらったこと など	4.8%
中学生	・席を譲って、お年寄りに「ありがとう」と言ってもらったこと ・野球部で、清掃活動をしていたら、近所の人から「ありがとう」と言われたこと ・「ありがとう」とか言われたりするとうれしい	2.5%

サポートしてくれる・話を聴いてくれるなど

小 分 類		割合
アドバイスをしてくれる		8.7%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと自分の道を示してくれた</li> <li>・勉強でわからないときに、教えてくれたこと</li> <li>・試合で負けたり、ミスしたときにアドバイスをくれたこと</li> <li>・先生にバスケットを教えてもらったとき</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	7.3%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できないことや、わからないことを教えてもらったこと</li> <li>・きちんと注意してくれたことが自分のためになったとき</li> <li>・サッカーのコーチにアドバイスしてもらった</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	10.7%
サポートしてくれる		8.3%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がやりたいことや習いたいことを習わせてくれたとき</li> <li>・味方になってかばってくれたこと</li> <li>・困っていると助けてくれること</li> <li>・忘れ物をしたとき、持ってきてくれる</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	8.5%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がやろうとしていることに対して、支持してくれたこと</li> <li>・先生が自分の行きたい学校の資料を持ってきてくれた</li> <li>・自分が失敗してピンチのときに、「あかんなあ」といいながらも助けてもらったとき</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	8.2%
話を聴いてくれる・わかってくれる		5.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと相談にのってもらったとき</li> <li>・落ち込んでいるときに、先生や親が話を聴いてくれたこと</li> <li>・自分と同じ気持ちや、同じ立場に立って考えてくれたらうれしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	3.6%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の話をきちんと聴いてくれたとき</li> <li>・大人の意見を一方的に言わずに、「一緒に考えよう」と言ってくれたこと</li> <li>・(子ども会議のように大人が)話を聴いてくれること</li> <li>・先生が気持ちをわかってくれたらうれしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	9.0%
思いやりをもって接してくれる		5.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしくしてもらったこと</li> <li>・風邪を引いたときに、面倒をみてくれたこと</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	7.3%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを心配してくれたり、思ってくれる人がいるというのがわかるだけで、うれしい</li> <li>・病気になったとき、お母さんが一緒にいてくれたり、病院にも連れて行ってってくれたこと</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	4.1%

## 贈物・お小遣いをもらう

小分類		割合
贈物・お小遣いをもらう		7.3%
小学生	・誕生日にプレゼントをもらったとき ・お小遣いをもらったとき ・欲しいものを買ってもらったとき など	9.1%
中学生	・野球の道具やユニホームを買ってくれたりしたこと ・お小遣いをもらったとき など	4.9%

## 一緒に遊ぶ・外出する

小分類		割合
一緒に遊ぶ・外出する		5.6%
小学生	・キャッチボールなどで一緒に遊んでもらったとき ・遊びに連れて行ってくれたとき ・家族で食事に連れて行ってもらうこと など	7.9%
中学生	・旅行やキャンプなど、いろいろなところに連れて行ってもらうのがうれしい ・一緒に大阪などに買い物に行ってくれたこと ・自分の趣味に付き合ってくれたこと など	2.5%

## 挨拶・会話などのふれあい

小分類		割合
挨拶・会話などのふれあい		2.1%
小学生	・近所の人が「行ってらっしゃい」、「お帰り」と挨拶してくれる ・知らない人に「おはようございます」と言ったら、挨拶をしてくれたとき など	1.8%
中学生	・知らない人でも気軽に話しかけてくれたり、挨拶をしてくれたとき ・マンションなどで（住民に）声をかけてもらったこと ・お店の人などに話しかけられたらうれしい など	2.5%

その他

小 分 類		割合
その他		5.2%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さいときの写真を見ながら、「このときは、こうだったよ」という話を聴いて、きちんと自分のことを見てくれていたんだと感じたとき</li> <li>・学校の成績やテストの点数をみて、自分のことのように喜んでくれること</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	3.0%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親と小さい頃の話をしたこと</li> <li>・がんばったときに好きなものを作ってくれた</li> <li>・怒られなければ、うれしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	8.2%

特になし

小 分 類		割合
特になし		1.7%
小学生	・ない	1.2%
中学生	・別にない	2.5%

(2)「大人の人から言われたり、されたりすることで、納得がいけないことは、どんなこと？」  
について

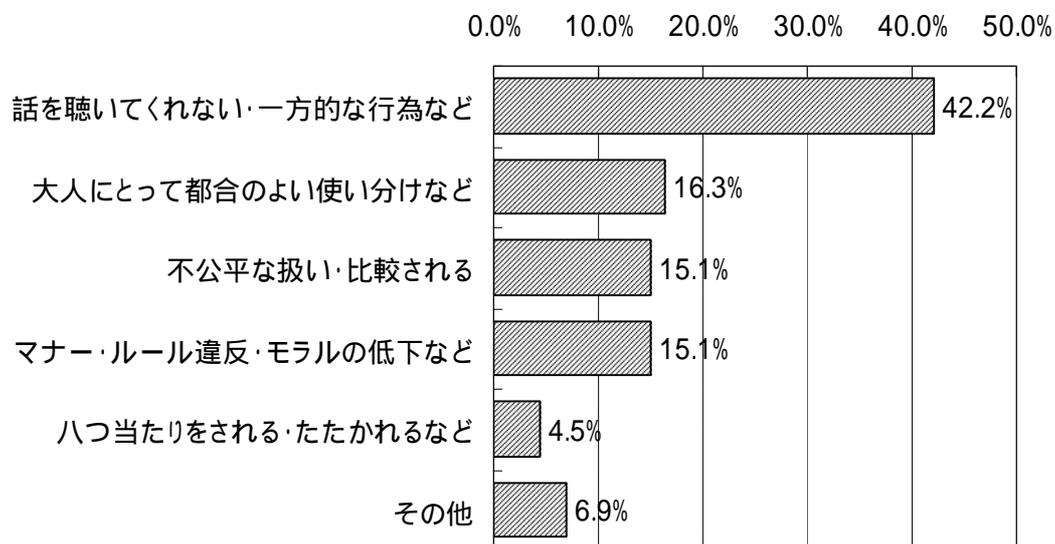
子どもたちの発言をもとに、概ね近いと考えられる種類ごとに集約を行った結果、以下のとおりの分類となった。



前述の分類にしたがい、集計を行った結果は以下のとおりである。

【「大人の人から言われたり、されたりすることで、納得がいけないことは、どんなこと？」

の回答について 大分類】



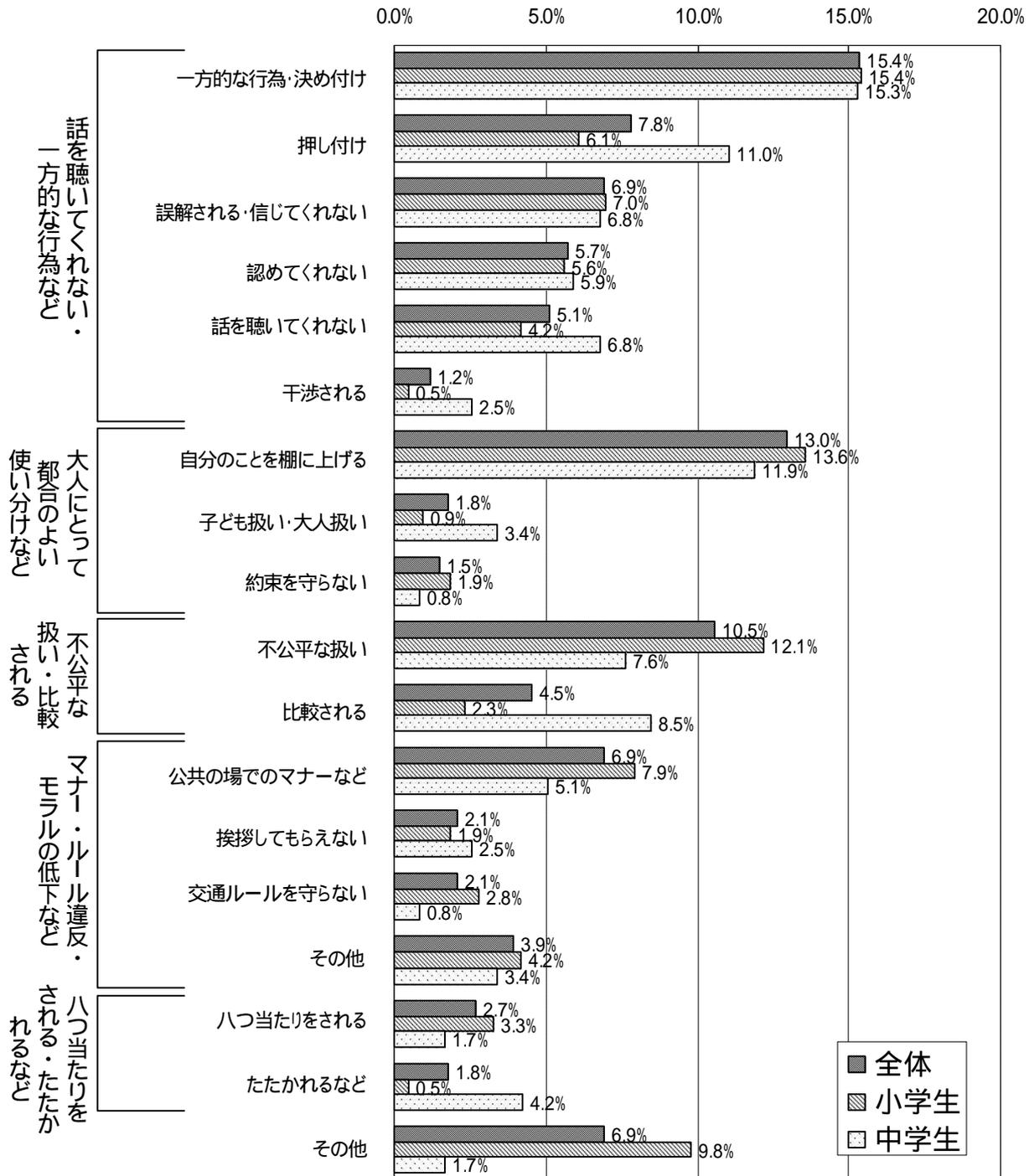
「大人の人から言われたり、されたりすることで、納得がいけないこと」についての全発言（332件）に対する割合は、「話を聴いてくれない、一方的な行為など」が42.2%で最も多く、次いで「大人にとって都合のよい使い分けなど」16.3%、「不公平な扱い・比較される」15.1%、「マナー・ルール違反・モラルの低下など」15.1%、「八つ当たりをされる・たたかれるなど」4.5%とつづく。

次に、大分類毎に小分類の内容を小学生、中学生で分けて見ていく。

この小分類における割合は、「大人の人から言われたり、されたりすることで、納得がいけないこと」についての小学生、中学生それぞれの全発言（小学生214件、中学生118件）に対する割合となっている。

【「大人の人から言われたり、されたりすることで、納得がいけないことは、どんなこと？」

の回答について 小分類】



発言の割合が高い項目を見ていくと、大分類「話を聞いてくれない・一方的な行為など」の中では、「一方的な行為・決め付け」(15.4%)が最も高く、小学生、中学生がほぼ同じ割合となっている。

大分類「大人にとって都合のよい使い分けなど」の中では、「自分のことを棚に上げる」(13.0%)、また、大分類「不公平な扱い・比較される」の中では、「不公平な扱い」(10.5%)が、それぞれ最も高い割合となっている。

この他に、全体を通して顕著な傾向としては、「不公平な扱い」、「公共の場でのマナーなど」については、小学生の発言の割合が中学生を大きく上回っていること、また、「押し付け」「話を聴いてくれない」「比較される」「たたかれるなど」については、中学生の発言の割合が小学生を大きく上回っていることが挙げられる。

また、小学生、中学生ともに「一方的な行為・決め付け」、「自分のことを棚に上げる」が、全体を通して上位を占めるが、これらの内容からは、「大人の人から言ってもらったり、してもらったりすることで、うれしいこと」との相関性がうかがえる。

## 子どもの発言内容

### 話を聴いてくれない、一方的な行為など

小 分 類		割合
一方的な行為・決め付け		15.4%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い込みで怒ること</li> <li>・子どもどうして話し合っているときに、大人が入ってきて子どもの意見を否定する</li> <li>・明らかに自分（大人）が悪いのに、それを認めない</li> <li>・イメージが悪い友だちに対して、「そんな子と遊ぶな」と言われる など</li> </ul>	15.4%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績などで人を判断すること</li> <li>・頭ごなしに怒る</li> <li>・上から押しさえ付けられること。例えば「君らには解決できない」と勝手に決め付けられること</li> <li>・自分のことをけなされる など</li> </ul>	15.3%
押し付け		7.8%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人に「こうしなさい」と先に決められてしまうこと（例えば、工作の時間など）</li> <li>・自分が決めようと思っているのに、勝手に決めてしまうこと</li> <li>・「やったらダメ」だけではなく、きちんと理由も言ってほしい など</li> </ul>	6.1%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を無理やり聞かせようとする</li> <li>・親が昔できなかったことを、子どもに無理やりさせようとする</li> <li>・昔と今は違うので、昔と照らし合わせている言っはくはない。押し付けになることもある</li> <li>・親などの固定観念で、「あなたならできると押し付けられても困る など</li> </ul>	11.0%
誤解される・信じてくれない		6.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が言っていることを親や他の大人が信じてくれない</li> <li>・他の人のことなのに、全部自分のせいにされる</li> <li>・そう言ったこと理由を説明しているのに、「それは屁理屈だ」と言われる など</li> </ul>	7.0%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブなどで「素直になれよ」と言われるけど、素直な気持ちなのに、「素直になれ」と言われる</li> <li>・自分には、自分なりの考えがあるのに、自分のことをわかったかのように言われること。</li> <li>・相手（大人）を傷つけないように言ったけど、逆に怒られてしまったとき</li> <li>・心配しているのかもしれないけど、自分は気をつけて規則を守っているのに、「守っているか」としつこく言われること</li> <li>など</li> </ul>	6.8%

次頁に続く

小分類		割合
認めてくれない		5.7%
小学生	・「子どものくせに」と言われること ・自分ではがんばっているのに、「もう少しがんばれ」って言われたこと ・小さい頃と比較して成長していないと言われること など	5.6%
中学生	・怒るときに「子どものくせに」と言われること ・悪いところばかり見ていること ・親がいつも現実的なことばかり言って、自分の思っていることを否定されること など	5.9%
話を聴いてくれない		5.1%
小学生	・自分の説明を最後まで聞かないこと ・自分で話をしているときに、お母さんが他の話題に変えること ・普通に言い返そうとしたけど、「黙れ」と言われる など	4.2%
中学生	・子どもの気持ちをわかってないのに、わかっている気になっていて、子どもの話も聴かずに叱りつけること ・子どもが文句を言ったら怒って、「反論するな」と言われる ・自分の意見をきちんと聴いてほしい など	6.8%
干渉される		1.2%
小学生	・電話のときにお母さんが口だししてくる	0.5%
中学生	・親が交友関係までいちいち聞きたがること ・度を越えた心配 ・自分のことは自分でできるのに、「あーしなさい、どうしなさい」といちいち言われる	2.5%

## 大人にとって都合のよい使い分けなど

小分類		割合
自分のことを棚に上げる		13.0%
小学生	・大人は自分自身ができないことを、子どもには「やりなさい」と言うこと ・大人もやっているのに、子どもだけがだめなとき。子どもだけに注意していること ・前に言ったことと、いま言ったことが違うので、どっちを信じたらいいかわからなくなる など	13.6%
中学生	・自分のことを棚にあげて言う ・人(子ども)に怒ったり、注意するのに、自分(大人)ができていないこと ・やっていることと、言っていることが違う ・口げんかのとき、自分が注意されていることに対して、大人に同じことを注意すると「自分は別」と言われる など	11.9%

次頁に続く

小分類		割合
子ども扱い・大人扱い		1.8%
小学生	・時と場合によって「大人だから」「子どもだから」と使い分けられること ・「～しなさい」と言うときは、子ども扱いなのに、用事を頼むときは大人扱いをする など	0.9%
中学生	・大人の都合で、大人扱いをしたり、子ども扱いをしたりする ・中学生になると、子どもと大人が中途半端な時期なので、大人の都合で大人扱いされたり、子ども扱いされたりする など	3.4%
約束を守らない		1.5%
小学生	・「どこかに連れて行ってあげる」と言ってもらったのに、当日になって「やっぱり無理やわ」と言われたこと ・お母さんに約束したのに、「また今度ね」と言われること など	1.9%
中学生	・「がんばったら、これ買ってあげる」と言われたのに買ってもらえず、約束を守ってもらえなかったこと	0.8%

### 不公平な扱い・比較される

小分類		割合
不公平な扱い		10.5%
小学生	・妹には怒らないのに、自分だけが怒られること ・マンションで遊んでいると、近所のおばちゃんに「うるさい」と言われるが、自分の子どもがうるさいときは、全然注意しない など	12.1%
中学生	・きょうだい間で、扱いの違いが激しいこと ・弟とけんかしていると、自分だけが怒られる など	7.6%
比較される		4.5%
小学生	・きょうだいどうしを比べること ・「お姉ちゃんの机はきれいなのに、あなたの机は・・・」と言われること ・いろんなことについて他人と比べられること など	2.3%
中学生	・きょうだいどうしで比べられること ・他の子と比べられる ・親の昔のときと比べられる など	8.5%

## マナー・ルール違反・モラルの低下など

小分類		割合
公共の場でのマナーなど		6.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車で(お互いにすれ違うために)止まっていて、せっかく向こうを待っていたのに、「早よ行けや」と言われたこと</li> <li>・雨の日に、さしている傘が、大人の人にあたったときに、こちらが謝ったのに、変な目で見られたこと</li> <li>・公園で友だちと遊んでいたら、おじさんに「うるさい!」と怒鳴られてむかついた</li> <li>・電車の中で、大音量で歌を聞いたり、化粧をしたり、ご飯を食べたり、携帯で話したりしていること</li> </ul>	7.9%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車でぶつかりそうになったので片側によけたのに、前にいたおじさんも一緒の方向に行った。こっちはわざわざよけたのに、怒られた</li> <li>・お互いにぶつかってしまったときに、謝ったのに、大人に舌打ちされた</li> <li>・電車の優先座席で、大声で電話したり、タバコのマナーを見ると、「あんなになりたくないなあ」と思う</li> </ul>	5.1%
挨拶してもらえない		2.1%
小学生	・近所の人に挨拶をしたのに返してくれなかった	1.9%
中学生	・知らない人に対して挨拶したとき、知らんふりをされたこと	2.5%
交通ルールを守らない		2.1%
小学生	・車で信号無視をすること	2.8%
中学生	・車が信号無視をしていて、ぶつかりそうになった	0.8%
その他		3.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコなどのポイ捨て</li> <li>・せっかく席をゆずったのに、「いいです。」と断られた。「次のところで降りるからいい。」とか、納得できるように、やさしく言ってほしい</li> </ul>	4.2%
中学生	・社会的なルールを守らない、タバコのポイ捨てとかを平気でする人がいること	3.4%

## 八つ当たりをされる・たたかれるなど

小分類		割合
八つ当たりをされる		2.7%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人がイライラしているときは、何をしても、八つ当たりで怒られる</li> <li>・自分(大人)が寝起きのときに、逆ギレされる</li> </ul>	3.3%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八つ当たりされること</li> <li>・機嫌が悪いときなどに八つ当たりされたりすると、自分を否定されているように感じる</li> </ul>	1.7%
たたかれるなど		1.8%
小学生	・灰皿を投げられて、目から血が出た	0.5%
中学生	・怒るときに、殴ったり、たたいたり、やめてほしい	4.2%

その他

小 分 類		割合
その他		6.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人も昔は子どもだったのに、すっかりそのことを忘れてしまい、自分がいやだったことを子どもにしている</li> <li>・成績も言われたらいやだが、自分に無関心なものいや</li> <li>・親たちの会話のなかで、子どもの報告をし合うこと</li> <li>・弟が悪いのに、「あなたがちゃんとしつけしないから」とか、「あなたが面倒をみないから」と怒られる</li> <li>・無視、侮辱など</li> <li>・好きなアイドルを悪く言われること</li> <li>・生活に余裕がないのに、（親が）お酒を飲んだりしてお金を使ってしまう など</li> </ul>	9.8%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイスがもらえないこと、（例えば、スポーツで、タイムが）遅いと言うだけで、どうしたら早くなるのかを教えてくれないこと</li> <li>・欲しいものを買ってもらえないこと など</li> </ul>	1.7%

### 3) 第3部「よりよい社会をめざして」

第3部では、「よりよい社会をめざして」について、事前に子どもたちに配付した「準備シート」に記載してある共通の質問として、

「世の中の大人の行動などを見て、感じることは？」

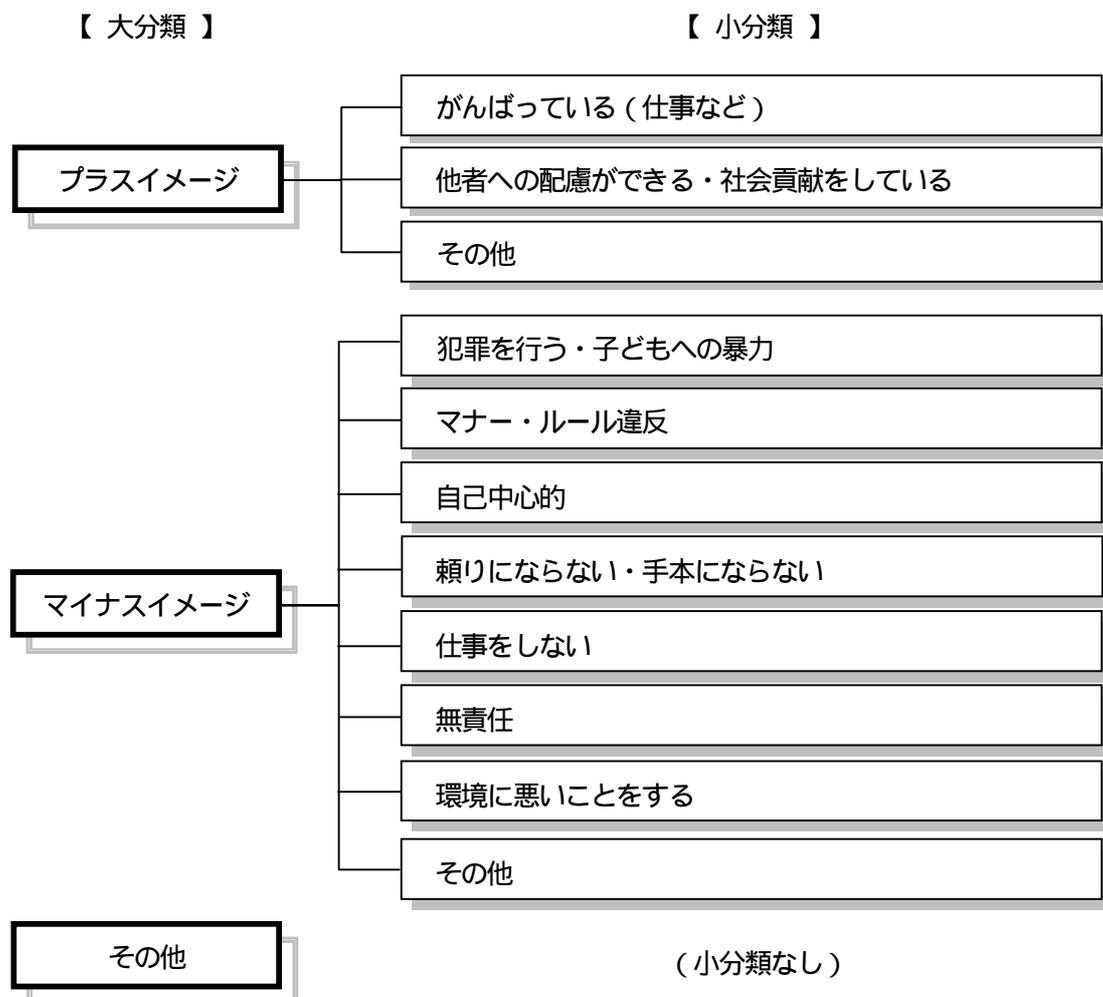
「なりたい大人のイメージって、どんな感じ？」

の2つを置き、概ねこの質問に沿って発言を得るなかで進めていった。

これらの質問は、第1部、第2部を通して考えてきた「子どもどうしの関係」、「子どもと大人の関係」をふまえたうえで、「これから大人へと成長し、自分たちがつくる社会のなかでの生活をイメージしながら、展望をもって、今をどう生きるか」を考えていくことを念頭に置いている。

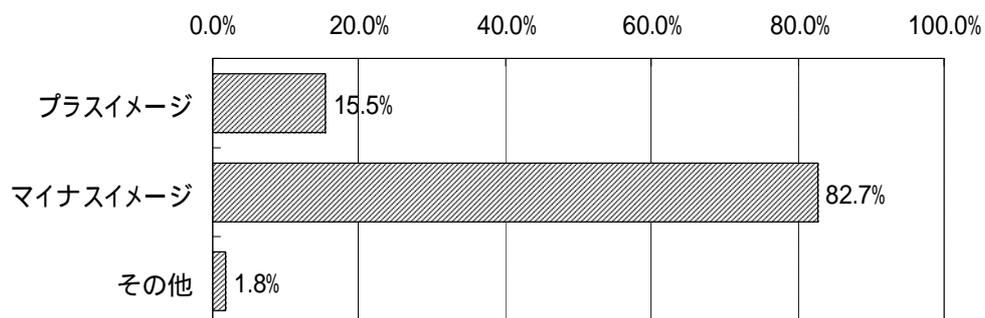
#### (1) 「世の中の大人の行動などを見て、感じることは？」について

子どもたちの発言をもとに、概ね近いと考えられる種類ごとに集約を行った結果、以下のとおりの分類となった。



前述の分類にしたがい、集計を行った結果は以下のとおりである。

【「世の中の大人の行動などを見て、感じることは？」の回答について 大分類】

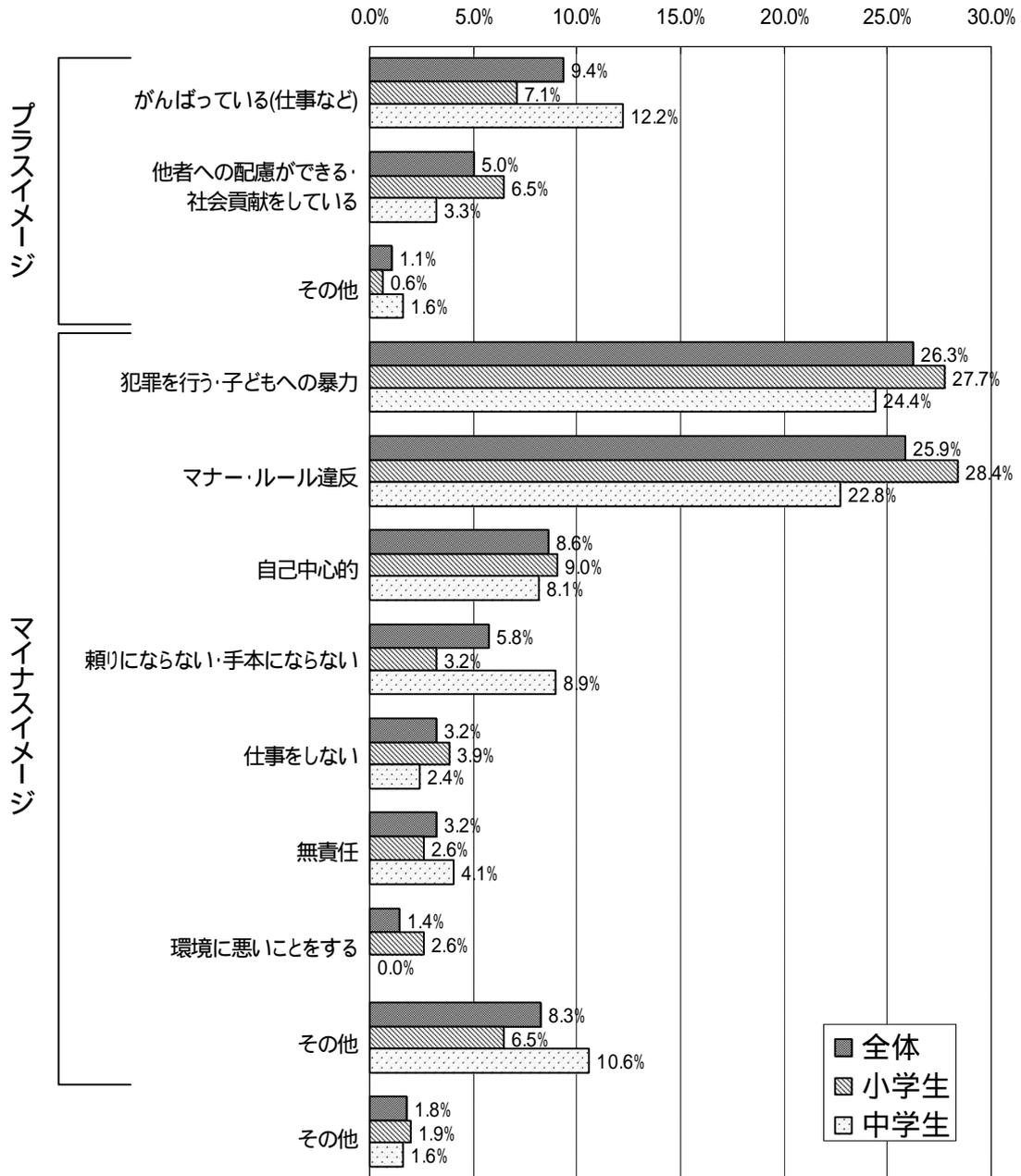


「世の中の大人の行動などを見て、感じること」についての全発言（278件）に対する割合は、「プラスイメージ」15.5%、「マイナスイメージ」82.7%であり、子どもたちの発言は、圧倒的に「マイナスイメージ」が多かった。

次に、大分類毎に小分類の内容を小学生、中学生で分けて見ていく。

この小分類における割合は、「世の中の大人の行動などを見て、感じること」についての小学生、中学生それぞれの全発言（小学生 155 件、中学生 123 件）に対する割合となっている。

【「世の中の大人の行動などを見て、感じることは？」の回答について 小分類】



発言の割合が高い項目を見ていくと、大分類「プラスイメージ」の中では、「がんばっている(仕事など)」(9.4%)が最も高くなっている。

また、大分類「マイナスイメージ」の中では、「犯罪を行う・子どもへの暴力」(26.3%)が最も高く、次いで僅差で「マナー・ルール違反」(25.9%)となっており、全体を通して見ると、この2項目をあわせて5割を超えており、大人に対してマイナスイメージの発言が圧倒的に多かった結果となっている。

この他に、全体を通して顕著な傾向としては、「がんばっている(仕事など)」、「頼りにならない・手本にならない」については、中学生の発言の割合が小学生を大きく上回っていること、また、「他者への配慮ができる・社会貢献をしている」については、小学生の発言の割合が中学生よりも高いことが挙げられる。

子どもたちの発言内容のうち、特徴のあるものとしては、「犯罪を行う・子どもへの暴力」については、小学生、中学生ともに、ニュースで取りあげられている犯罪などに関する発言が目立ち、こうした行為を行う一部の大人のイメージが「大人全体」のイメージに影響を及ぼしていることがうかがえる。

## 子どもの発言内容

### プラスイメージ

小分類		割合
がんばっている（仕事など）		9.4%
小学生	・仕事をしているって感じ ・毎日働いてがんばっている など	7.1%
中学生	・暑い日も寒い日もちゃんと仕事に行き、責任感を持って仕事をしている ・夜寝ずに働いているくらい、がんばっている など	12.2%
他者への配慮ができる・社会貢献をしている		5.0%
小学生	・お年寄りにやさしいところがいい ・みんなで協力してゴミ拾いをしているところなどを見るとすごくいいと思う ・知らない子どもにもやさしい良い大人がいる など	6.5%
中学生	・命にかかわるようなことをしている人もいて、温かい人もいると思った ・バスや電車でお年寄りや子どもに席を譲る人もいる ・大人は人を支える など	3.3%
その他		1.1%
小学生	・一生懸命、家のことなどもしっかり、自分の仕事もしているのは良いところだなと思う	0.6%
中学生	・立派な人がやっていることの全部がすごい	1.6%

## マイナスイメージ

小分類		割合
犯罪を行う・子どもへの暴力		26.3%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の人が犯罪行為をしたりすることで、大人みんなが悪いイメージになっている</li> <li>・子どもを誘拐したり殺人をする人は最低</li> <li>・大人は自分が納得しなかったら人を殺したりする</li> <li>・お母さん、お父さんは私たちを育てるためにがんばってくれている。でも人を殺したり、子どもを連れ去ったりする人を見たら、お母さんお父さんががんばってくれているのが無駄にされてしまう</li> <li>・ニュースでも言っているけど、大人の人が子どもを虐待したりする など</li> </ul>	27.7%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の大人が自分の子どもや親戚を殺すことで、大人全体のイメージが悪くなっている</li> <li>・ニュースを見ていて、大人が殺人をするのが日常茶飯事で、悪い話題が目立っており、それを見て（自分たちは）育つ</li> <li>・「人が人を殺すというのは止められないことなのかなあ」と思う</li> <li>・世界には戦争している大人がいて、そういう大人が国のトップになって世界を動かしている など</li> </ul>	24.4%
マナー・ルール違反		25.9%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコのポイ捨てをするのをみて、地球環境を汚してほしくないと思う</li> <li>・自動車のマナーが悪い。窓をあけて音楽を聞いていたり、駐車違反をやっていたりなど</li> <li>・バス、電車の中で携帯を使う人はマナーを守っていない など</li> </ul>	28.4%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコをポイ捨てしたり、小さい子がいる所や、禁煙場所で吸ったりと、マナーを守っていない</li> <li>・マナーを守っている人でも、守っていない人を注意できない大人が多い</li> <li>・飲酒運転や駐車禁止のところ止めていることに疑問を感じる</li> <li>・信号を無視する大人も多いから残念 など</li> </ul>	22.8%
自己中心的		8.6%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が良ければそれでいいと思っている人や、そういう事件が多いと思う。もう少し大人として自覚を持ってほしい（例えば、成人式とかいろいろなニュースに出るけど、きちんとしてほしい）</li> <li>・ニュースなどを見ていたら、ちょっとしたことで「キレる」大人が多いと思う など</li> </ul>	9.0%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りを見て行動できない、人の迷惑を考えて行動していない、自分本位な大人が多い</li> <li>・自分のことしか考えずに行動して、犯罪などを起こす。だから、自分勝手なことはいやだなと思う</li> <li>・つまらないことで怒ったり、キレたりしてしまう大人が多いと思う など</li> </ul>	8.1%
頼りにならない・手本にならない		5.8%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする人もいるけど、何も言わずに通り過ぎる人もいる。子どもの見本になって欲しい</li> <li>・お年寄りに席を譲る人もいれば、そのままの人もいる</li> <li>・お酒を飲む人やタバコを吸う人が増えていて、だらだらした大人がいる など</li> </ul>	3.2%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おとなげない人や、態度が悪い人が多い</li> <li>・手本とする大人があまりいない</li> <li>・世の中の大半の大人は口先だけ など</li> </ul>	8.9%

次頁に続く

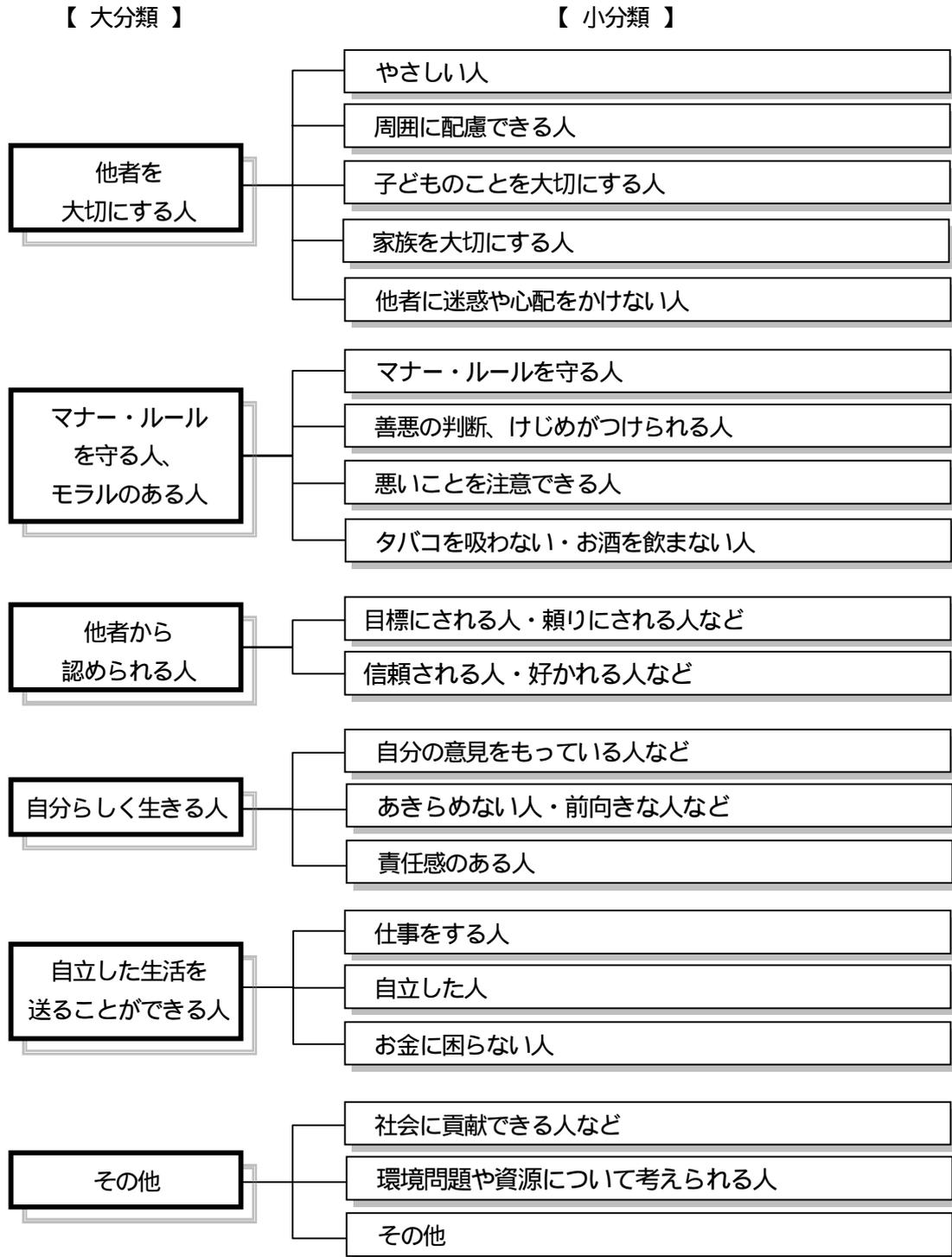
小分類		割合
仕事をしない		3.2%
小学生	・ 仕事をしている人もいるけど、フリーターやニートはどうなのかな ・ ニートが多くなっているから、働いてほしい など	3.9%
中学生	・ 家の中にいて何もしていない人もいる ・ ちゃんと仕事をしていない大人も増えている など	2.4%
無責任		3.2%
小学生	・ 酸性雨やオゾン層破壊などがあるけど、今の大人は次の社会でやってくれるだろうと考えて無責任になっている ・ 職業が立派でも、意外と無責任な人がいる ・ 世の中には言っていることとやっていることが違う大人もいる など	2.6%
中学生	・ みんなじゃないけど、考えが甘くて、軽い考えに立って行動をする人がいる ・ 選挙権を持っているのに、選挙に行かない人や、「誰でもいいや」と思っている人が多い ・ 言うこととやることが矛盾している。 など	4.1%
環境に悪いことをする		1.4%
小学生	・ 大きなビルが建って、動物の住む所がなくなってしまう ・ 環境のことで色々考えてやっている人もいるけど、結局資源の無駄遣いをしていると思う ・ 会社で働いている人はエアコンを使いすぎて、環境に悪いと思う ・ ボランティアでゴミを拾っている人もいるのに、ゴミを捨てる人もいる など	2.6%
中学生の発言なし		0.0%
その他		8.3%
小学生	・ むかつく、嫌味だ ・ 勉強して良い大学を出て社会に入っても、やっぱり「やさしさ」がないとダメだと思う。 お金を持っているからと言って威張っている人が多い ・ 大人がしっかり見ていたら、大きな事件にならないのに、しっかり見ていない など	6.5%
中学生	・ むかつく、平等じゃない ・ 基本的に「上から目線」だから、大人のすべてが嫌い ・ サラリーマンは働くのが大変だと思う ・ 税金を無駄に使っている ・ 心が汚い人が多いと思う など	10.6%

## その他

小分類		割合
その他		1.8%
小学生	・ よくわからない など	1.9%
中学生	・ (大人の行動などを見て) 感じることは特になし など	1.6%

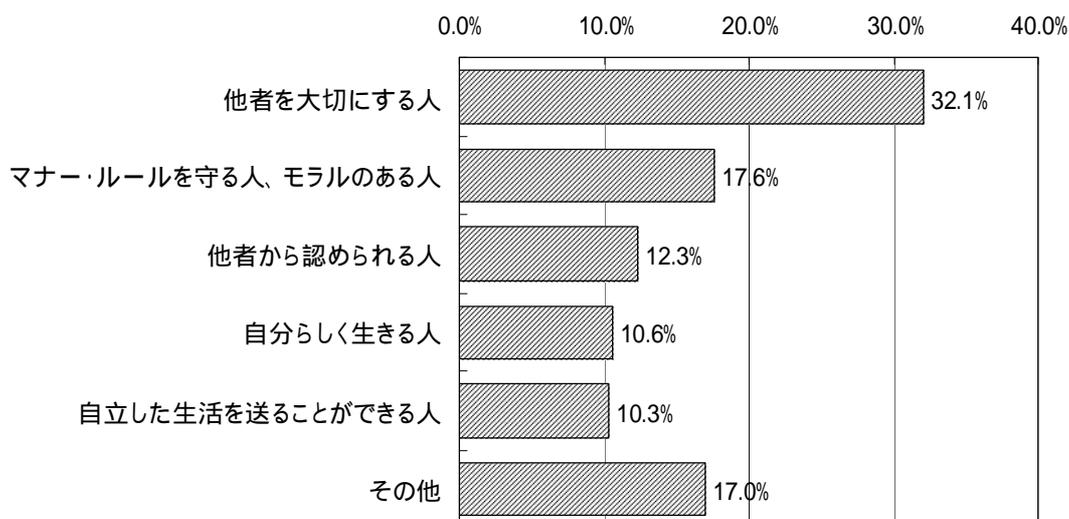
(2)「なりたい大人のイメージって、どんな感じ?」について

子どもたちの発言をもとに、概ね近いと考えられる種類ごとに集約を行った結果、以下のとおりの分類となった。



前述の分類にしたがい、集計を行った結果は以下のとおりである。

【「なりたい大人のイメージって、どんな感じ？」の回答について 大分類】

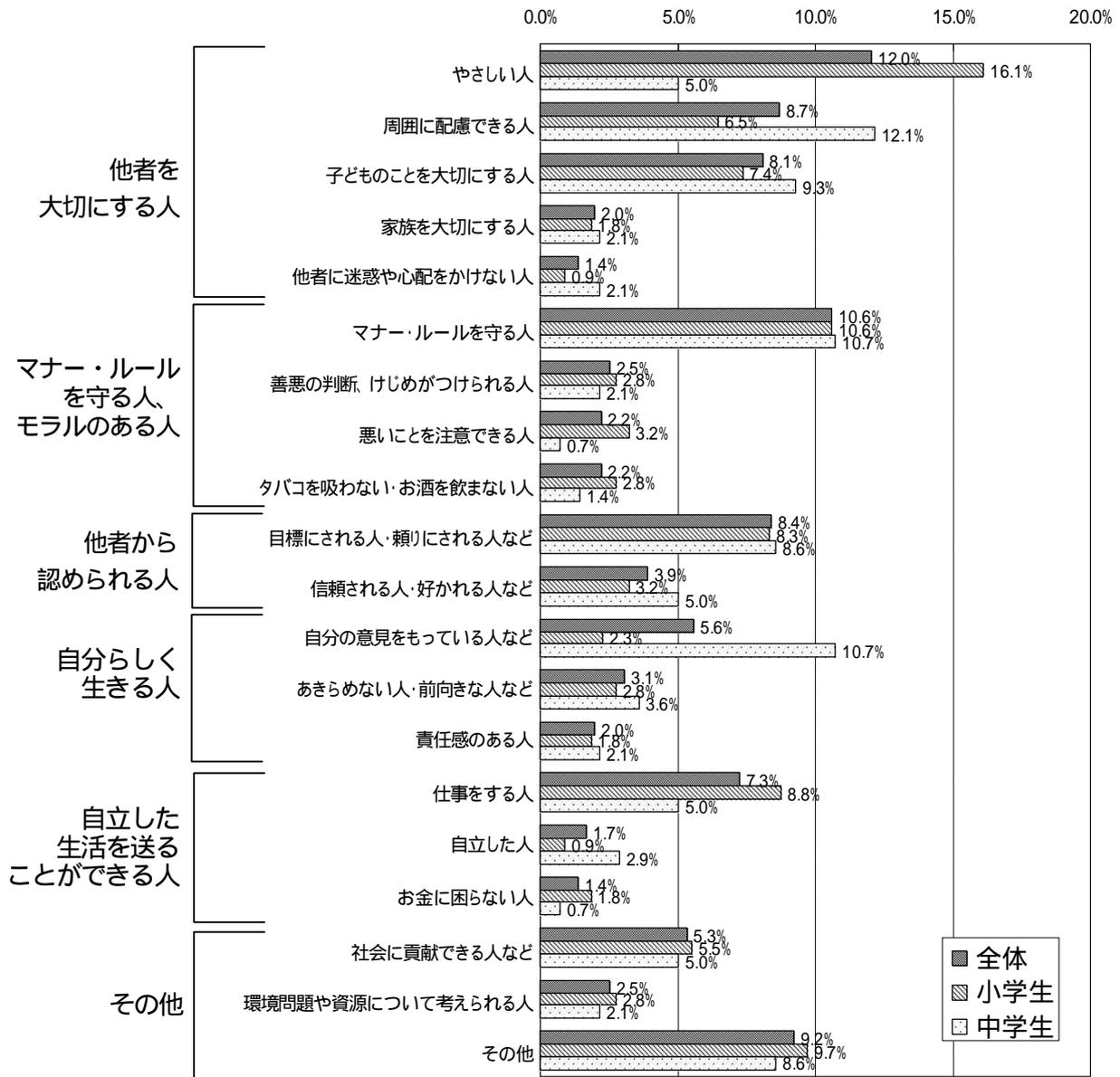


「なりたい大人のイメージ」についての全発言（358件・小中学校不明1件を含む）に対する割合は、「他者を大切にする人」が32.1%で最も多く、次いで「マナー・ルールを守る人、モラルのある人」17.6%、「他者から認められる人」12.3%、「自分らしく生きる人」10.6%、「自立した生活を送ることができる人」10.3%とつづく。

次に、大分類毎に小分類の内容を小学生、中学生で分けて見ていく。

この小分類における割合は、「なりたい大人のイメージ」についての小学生、中学生それぞれの全発言（小学生 217 件、中学生 140 件）に対する割合となっている。

【「なりたい大人のイメージって、どんな感じ？」の回答について 小分類】



子どもが思い描く「なりたい大人のイメージ」は、多岐にわたる結果になっている。

発言の割合が高い項目を見ていくと、大分類「他者を大切にする」の中では、「やさしい人」(12.0%)が最も高く、次いで「周囲に配慮できる人」(8.7%)、「子どものことを大切にする人」(8.1%)がづく。

大分類「マナー・ルールを守る人、モラルのある人」の中では、「マナー・ルールを守る人」(10.6%)、また、大分類「他者から認められる人」の中では、「目標にされる人・頼りにされる人など」(8.4%)が、それぞれ最も高く、小学生、中学生がほぼ同じ割合となっている。

この他に、全体を通して顕著な傾向としては、「やさしい人」については、小学生の発言の割合が中学生を大きく上回っていること、また、「周囲に配慮できる人」、「自分の意見をもっている人など」については、中学生の発言の割合が小学生を大きく上回っていることが挙げられる。

## 子どもの発言内容

### 他者を大切にする人

小 分 類		割合
やさしい人		12.0%
小学生	・ 犯罪など「悪い世界」のことは絶対しない。やさしい大人になりたい ・ やさしくて、言葉で伝えてくれる大人 ・ 他人にやさしく、自分に厳しい など	16.1%
中学生	・ どんな人にも仲良く、やさしくできる大人 ・ 困っている人を助けてあげられるようなやさしい人 など	5.0%
周囲に配慮ができる人		8.7%
小学生	・ 周りのことを考えて行動できる大人 ・ 他人の気持ちを考えられるような大人 ・ みんなのこと、周りのことを考えて、自分のことも考えることのできる人 など	6.5%
中学生	・ 他人のことも思いやれる人になりたい ・ 自分も、周りの人も大切にしたい ・ やさしくて、強くて、お年寄りを敬ったりする人 など	12.1%
子どものことを大切にする人		8.1%
小学生	・ 子どもの意見をしっかり聞く大人 ・ 子どもが話しかけやすく、子どもの立場になって考えられる大人 ・ 子どもの気持ちがわかる大人 ・ 子どものことを考え、犯罪などを起こさない人 ・ 子どもたちにわかりやすくいろいろなことを教えられる人 など	7.4%
中学生	・ 子どもの気持ちがわかってあげられる大人 ・ 子どもときの気持ちを忘れずに経験を積んで、子どもの考えをわかってあげられる親になりたい ・ 自分が今まで経験したことを子どもにも教えてあげる など	9.3%
家族を大切にする人		2.0%
小学生	・ 仕事から早めに家に帰れて家族の時間を持つ大人 ・ 家族やまちのために働ける人 など	1.8%
中学生	・ 仕事が忙しくても家族を大切にできる大人 など	2.1%
他者に迷惑や心配をかけない人		1.4%
小学生	・ 他人に迷惑をかけないようにしたい など	0.9%
中学生	・ 他人に迷惑をかけず、人の役に立つ人 など	2.1%

## マナー・ルールを守る人、モラルのある人

小分類		割合
マナー・ルールを守る人		10.6%
小学生	・法律やマナーをしっかり守って、人に迷惑をかけない大人になりたい ・悪いことをしない、普通の大人 ・ルールやマナーをしっかり守れる大人 など	10.6%
中学生	・さわやかで、明るくてタバコを吸わない、社会のルールを守る大人 ・まじめで、ルールを守れる など	10.7%
善悪の判断、けじめがつけられる人		2.5%
小学生	・悪いことはきちんと駄目と言い、ほめるときはほめ、明るい大人になりたい ・けじめがきちんとついているしっかりした人 など	2.8%
中学生	・どんな状況でも（善悪を）正しく判断して行動できる大人 ・悪いことは悪いと自分で自覚できる人 など	2.1%
悪いことを注意できる人		2.2%
小学生	・悪い人を注意できる人 ・悪いことは悪いと自分でも自覚して、相手にも言える人 など	3.2%
中学生	・やさしいけれども、悪いことを注意できる大人	0.7%
タバコを吸わない・お酒を飲まない人		2.2%
小学生	・タバコを吸わずに健康な大人 など	2.8%
中学生	・タバコと酒は絶対にしない など	1.4%

## 他者から認められる人

小分類		割合
目標にされる人・頼りにされる人など		8.4%
小学生	・一つでも取り柄を持っていて、それを活かせる人になりたい。また、一人でもいいから目標にされる大人 ・みんなから頼られる ・人に信頼されて、いつでも相談に乗ってあげられる大人 など	8.3%
中学生	・自分の仕事などに誇りを持って、色々な人から尊敬される大人になりたい ・他人に頼られる人 ・みんなから親しまれて、みんなが行動を見て真似してくれる大人 など	8.6%
信頼される人・好かれる人など		3.9%
小学生	・元気でみんなから信頼される大人 ・子どもから大人までたくさんの人から好かれる大人 など	3.2%
中学生	・みんなに信頼されて、誰にでも平等に接する人 ・子どもから見て、いい大人だなと思われる人 ・子どもから好かれる人 など	5.0%

## 自分らしく生きる人

小分類		割合
自分の意見をもっている人など		5.6%
小学生	・人の意見に振り回されない、しっかりした大人 ・自ら考え行動できる大人 ・一つでも取り柄を持っていて、それを活かせる人 など	2.3%
中学生	・他人に振り回されず、自分の意見をしっかり持った大人になりたい。 ・仕事を大切にしているけど、自分の時間も大切にしている人 ・自分にいつも余裕をもっている人 ・自分の長所を伸ばしていく など	10.7%
あきらめない人・前向きな人など		3.1%
小学生	・どんなことにもやる気を持って、みんなのことを考えてあげる ・希望どおりの仕事について、あきらめないような大人になりたい ・会社でいやなことがあってもあきらめないでやっていきたい ・自分の目標に向かって、その間に何があってもくじけずにする など	2.8%
中学生	・どんなことがあってもへこたれずに、前向きに明るく生きていく人 ・何事にも熱心にとりくむ大人 など	3.6%
責任感のある人		2.0%
小学生	・何事にも責任を持って取り組める人になりたい など	1.8%
中学生	・しっかりと自分の行動に責任を持てる人 など	2.1%

## 自立した生活を送ることができる人

小分類		割合
仕事をする人		7.5%
小学生	・仕事を持っている人 ・健康に気をつけて、仕事をして普通の生活を送る ・仕事をばりばりする人 ・職業に就いて、楽しい一日一日を過ごしていきたい など	8.8%
中学生	・そこそこ働いて、そこそこ稼いで、きちんと税金を払う人 ・自分が向いていると思える仕事をしている人 など	5.0%
自立した人		1.7%
小学生	・自分のことは自分でできる頼りがいのある大人 ・大人としての自覚を持てる人	0.9%
中学生	・大人として自立していて他人のことも思いやれる人 ・自分の力で食べていける人 ・他人に頼らず自分でやっていける大人 ・誰からも尊敬されて、将来しっかりと生活していける大人	2.9%

次頁に続く

小分類		割合
お金に困らない人		1.4%
小学生	・一生懸命働いて、お金の余裕の持てる大人になりたい ・お金の困らない人 ・仕事がいっぱいできて、子どもに少しでも楽をさせてあげたい など	1.8%
中学生	・お金を持ちすぎても欲望にかられそうだし、生活できなくても困るから、普通ぐらいがいい	0.7%

## その他

小分類		割合
社会に貢献できる人など		5.3%
小学生	・自分たちの未来を支えていける人 ・社会に貢献できるような人 など	5.5%
中学生	・自分の好きなことで、(それを)社会に反映させたい ・社会に貢献できて、自分の子どもにもきちんと接したい ・自分の仕事を持って、社会のために働きたい など	5.0%
環境問題や資源について考えられる人		2.5%
小学生	・地球にやさしいものを作る人 ・環境にもやさしく、人にもやさしい立派な大人 ・資源のことを考えて地球を大切にできる大人 など	2.8%
中学生	・環境を考えられる人 ・地球のことを考え、仕事をしてもエアコンをつけっぱなしにしない など	2.1%
その他		9.2%
小学生	・仕事と家庭を両立できる人 ・純粋な考えを持った人 ・我慢ができる人 ・目立つ人ではなく、何をやってもできない人ではなく、普通の世界で少し力の強い人 など	9.7%
中学生	・できるだけ毎日楽しく生きていけるような人 ・大変な中でも、とりあえずやっていけたらいいな ・平凡なサラリーマンになりたい ・大人になっても自分の理想を持ちつづけているような人 など	8.6%

#### 4) 共通の質問項目以外の発言内容

第1部、第2部、第3部それぞれにおいて、「準備シート」に記載した共通の質問に沿った発言をもとに、統計的な手法を用いて集約し分析等を行ったが、前述のとおり、子どもたちの集団特性により、共通の質問項目以外にも、子どもたちからの主体的な提案、意見があった会議や、意見交換のためグループ討議（小学生・中学生混合）を行い、グループとして意見をまとめた会議もいくつかあった。

これらの意見の内容については、すべての会議に共通した質問についての発言内容ではないことから、統計的には扱わず、質的な情報として紹介する。

#### 【誰かを傷つける行為への対応についての提案など（個人意見）】

分類		内容	
自分が当事者のとき	誰かに相談する・話す	小学生	・状況を全部説明して、アドバイスしてもらう ・相談すると楽になる
		中学生	・親・先生・友だちに相談する ・まず誰かに話をして自分を客観的に見る ・親や先生など話を聴いてくれる人に、ただ話してみる
	相手に直接アプローチする	小学生	・次の日遊ぶとき、自分から謝って仲直りする ・仲良くできるように働きかける（例えば、笑いをとって場の雰囲気をかえる） ・（傷つける行為を行う子と）話しやすい環境をつくる ・やり返す
		中学生	・ストレートに聞いてみる ・手紙を書く
	関わりを持たない	小学生	・その場から逃げる ・無視をする
	お互いに認め合う	小学生	・双方の悪いところを直すようにする ・お互いに悪いところを認めて謝る
		中学生	・自分の悪いところ、相手の悪いところを認め合う
解決策を考える	中学生	・一歩下がって、自分はこの場を解決するためにどうしたらいいか、考える ・自分自身で解決する	
自分が当事者でないとき	相談に乗る・話を聴く・味方になる	小学生	・相談にのる ・味方になる
		中学生	・相談にのる ・愚痴を聞く
	相手に直接アプローチする	小学生	・みんなで注意する ・行為のわけをストレートに聞く
		中学生	・行為のわけをストレートに問いただす
	関わりを持たない	小学生	・当事者に近づかないようにする
		中学生	・見て見ぬふりをする
話し合いの場を設ける	小学生	・みんなで話し合いをする。 ・両方が納得のいく形で話し合うように働きかける	

【大人の人から言われたり、されたりすることで、納得がいけないこと（グループ意見）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビなどで年配の人が、「最近の若い人は」という発言をしているのを聞く。ごく一部常識がない若者と普通の人を一括りにしている</li> <li>・男子、女子で（門限やお小遣いなどについて）差別されるのは納得がいけない</li> <li>・きょうだいがいけないことが自分にプレッシャーになる</li> </ul>
--

【納得がいけない大人の行為に対して自分はどうか（個人意見）】

小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園で遊んで「わー」って大きな声を出す</li> <li>・好きな音楽を聞く</li> <li>・何もしない</li> </ul>
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べることで忘れる</li> <li>・一緒に「腹立つなあ」と友だちが言ってくれて（よかった）</li> <li>・我慢する</li> <li>・寝る</li> <li>・何もしない</li> </ul>

【納得がいけない大人の行為に対して「仕方がない」と思う理由（個人意見）】

分類	内容	
自分が悪いから	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が悪いことがわかっているから</li> <li>・注意されたのに、続けていたことで自分が怪我をしたときに、『だから言ったのに』と言われて、自分が悪かったことに納得した。</li> </ul>
	中学性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みなので夜更かししながらダラダラしていて、次の日、約束の時間に起きられなかった自分が悪いから</li> </ul>
年上だから	中学性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんだかんだって言っても年上だから言い返せない</li> </ul>
大人も人間だから	中学性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機嫌が悪いときの怒り方はいやだけど、「大人も人間だからな」と思う</li> </ul>
言われた相手によるから	中学性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言われる相手によって受け取り方が変わる。例えば、いつもがんばっている人からアドバイスをもらったときは納得するけど、適当にしている人に言われたときはいや。親に言われたら、しっかりしようと思う</li> </ul>
言っても無駄だから	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言っても返ってくることは一緒だから「言っても無駄」と思ってあきらめる</li> <li>・言っても逆らうと、また怒られたりする</li> </ul>
	中学性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を言っても最終的には言い返してきて、この人に話しても仕方がないと思う</li> <li>・機嫌が悪いこと自体に本人（大人）が気付いてないから、気付いてないことを言っても仕方がないと思う</li> <li>・自分の気持ちを言っても正論で返ってくる</li> </ul>

【大人に対して改善してほしいこと（グループ意見）】

分 類	内 容
マナー・ルールを守ってほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーやルールがきちんと守られていると、知らない人も信頼できる</li> <li>・マナーに気付いてないときには他の人が教えてあげる</li> <li>・みんながマナーを守れば良い社会になると思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
子どもの手本となるような行動をとってほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは大人を見本にして育っていくから、大人が見本になる行動をするべき</li> <li>・スポーツ選手やタレントに憧れる人は多いけど、周りの大人には憧れる人はいないので、憧れられるような大人になってほしい</li> <li>・大人は子どもにやさしくしてほしい。そうすれば、その子どもが次の子どもにやさしくして、「やさしい社会」になる</li> <li>・一人一人が子どもの見本になるように自覚を持つ</li> <li>・大人は発言に責任をもってほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
子どもを大切にしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの気持ちをわかって、何も聞かずに怒らないでほしい</li> <li>・手で叩かないで、口で言ってほしい</li> <li>・一人が悪いことをしたのに、連帯責任をとらさないでほしい</li> <li>・親の時代と比べると、やめて欲しい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
子どもを信頼してほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理由もなく、子どものせいにしないでほしい</li> <li>・大人の言っていることも正しいけれど、子どもの言うことももっと聞いてほしい</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻繁に部屋に入ってきて、勉強しているときに邪魔しないでほしい</li> <li>・お酒は控えめにしてほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

【自分が大人になったときに、どのような振る舞いをしたいか（グループ意見）】

分 類	内 容
子どもの話を聴く・相談にのる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの意見を一番に大切にする</li> <li>・子どもの言うことを聴いてあげる</li> <li>・相談してきたら、しっかり相談に乗ってあげられる</li> <li>・(子どもが) 気軽に相談できる大人</li> <li>・子どもと話すときは同じ目線で話す</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
子どものことを大切にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忙しくてもできるだけ子どもと一緒にいるようにする</li> <li>・無意味なことで怒らない</li> <li>・がんばったらしっかりほめる</li> <li>・子どもがいやな思いをしているときはそばにいてあげる</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
暴力以外の方法で接する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暴力もしないけど甘やかしたりもしない</li> <li>・怒るときは暴力をふるわず話し合う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

【なりたい大人の具体的なモデル像】

・母親	・学校の先生	・有名人	・歴史上の人物
・父親	・塾の先生	・芸能人	・自立している友だち (中学生のみ)
	・クラブのコーチ	・スポーツ選手	

「自立している友だち」を除き、小学生、中学生共通

【よりよい社会にするためにはどうすれば良いと思うか（個人意見）】

分類	内 容	
話し合う・みんなで考える	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こういう話し合いをして、いい大人になっていこうとしたら社会もよくなっていく。</li> <li>・みんなで、「そこはあかん」「これは絶対止めたほうがいい」とか言いながら、いい社会を作っていったらいい</li> </ul>
	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっといろいろなことで話し合った方が良くと思う</li> <li>・意見を出し合える話し合いの場を持つことが犯罪をなくすことにつながる</li> <li>・思うことや表現はそれぞれ。でも話し合いをしていたら、最後はイメージが一つにまとまって、みんないい大人になっていく</li> <li>・自分だけでなく、いろんな人と話し合って納得のいくようにする</li> <li>・世の中を変えることを一部の人が考えるのではなく、みんなが一人ひとり社会で起こっていることを知っていかないといけない</li> <li>・若い人は無関心だけど、社会で起こっていることを、話し合いなどで知ったら、変わっていくと思う</li> <li>・大人との話し合いを大切にする</li> </ul>
一人ひとりが自覚し行動する	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりルールやマナーを守る</li> <li>・一人が悪いことをしたら、みんなもしていくかもしれないから、やはり一人ひとりが悪いことをしないと思うことがいい社会になっていくと思う</li> <li>・悪いことに誘われても、自分がしっかり断れば、誘った相手も「これは悪いこと」と気付くと思うので、しっかりと断るようになる</li> <li>・善悪を自分でしっかり見分ける</li> <li>・悪い方に流されないで、「これは悪いこと」と思ったらしない。できたら、流されている人にも注意する</li> </ul>
	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが気をつける</li> <li>・一人ひとりが決められたことを守ったらよい。そのために作った法律だから</li> <li>・注意する人が多くなったら、ポイ捨てなどなくなり、まちがきれいになる</li> </ul>
自分たちが良い大人になる	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の子どもは良い大人になって、悪い大人も良い大人に変われるようにしていったらいいと思う</li> <li>・もともと悪い大人になりたいと思う人はいないから、みんながなりたい大人になったらよい大人が増えていく</li> </ul>
	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪い大人にならないようにする</li> <li>・今すぐにはできないと思うけど、僕たちが大人になったら、その下の世代にきちんとした大人になれるように教える</li> </ul>
リーダーが必要	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を発展させていくためには、引っ張っていく人が必要だし、そういう人に出てきてほしい</li> </ul>
	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップを取れる人がいたらいい。そういう人を目指していく</li> </ul>
環境を守る	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石油や化石燃料などをあまり使わない方がいい</li> <li>・ソーラーパネルをつけて、自然にやさしくする</li> <li>・環境を良くするにはポスターを貼る</li> </ul>
	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や命を大事にすることを小学校のときに良く知っておかないといけないので、小学校で見学やビデオで勉強する</li> </ul>

次頁に続く

分類	内 容	
なくす 犯罪を	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪などをなくしたらよりよい社会になると思う</li> <li>・犯罪を行う人を、恨みをもたないように育てていけばよい</li> </ul>
	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪がなくなることが大事で、なくしていくためにどうしたらいいか、僕らの時代から少しずつ考えられたらいい</li> </ul>
なくす 差別を	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・差別がなくなったらいい</li> <li>・子どもの頃だめとわかっていても、大人になるとついやってしまうかもしれないから、(子どもだからという)差別をなくしていったら、ポイ捨てでも子どもからも注意できる</li> </ul>
その他	小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームセンターを無くす</li> <li>・テレビで人を殺した事件を何回も放送するから、みんなが心配するので、あまり出さないほうがいいと思う</li> <li>・繰り返しいやなものをテレビで見て恨んでしまう(ので犯罪につながる)と思う</li> <li>・タバコの料金を高くして、みんなが吸わないようにすればいい</li> <li>・自分がされていやなことはしない。自分の夢があるのに、誰かに殺されてしまったら、その夢が叶わなくなる。自分もその人の立場に立ったらそんなことはできない</li> <li>・自分のことも、相手のことも両方を考えて、カーッとならず冷静に考える</li> </ul>
	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の人たちが仲良くしていったら、もっと平和でよい社会になるのでは</li> <li>・大人と子どもが接する機会を増やしたらいい</li> <li>・犯罪に走る人は、小さい頃にお母さんと何かあったとか、心に闇がある人かなとも思うので、人の温かさを感じさせてあげることが大事だと思う</li> </ul>

【よりよい社会にするためにはどうすれば良いと思うか(グループ意見)】

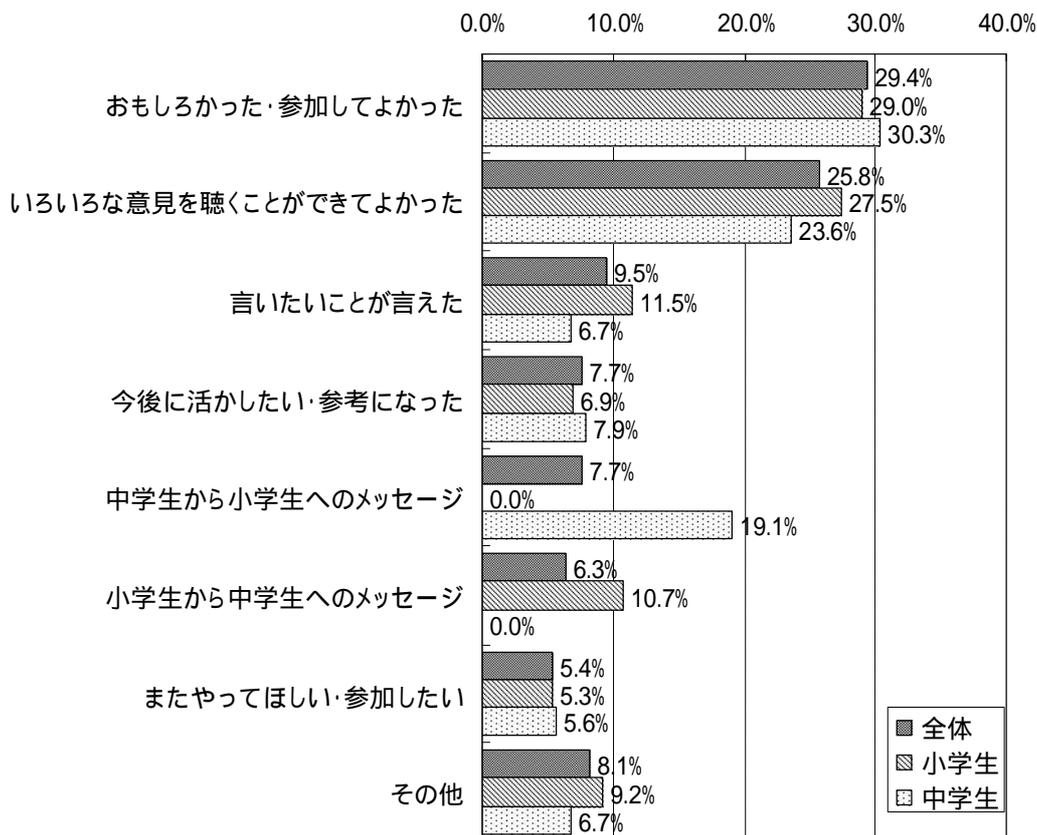
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものことを大切に思って欲しい。そうすることで、犯罪が減ることにつながる(ニートも減る)</li> <li>・大人は多くの経験をしているから、子どもにそれをどんどん伝えていく</li> <li>・街灯や信号、大きい公園などを整備する</li> <li>・地域や社会との交流をもっと持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものための条例や法律をつくる</li> <li>・動物が大切にされる社会</li> </ul>
--	---

## 5) 参加した子どもたちの感想

それぞれの会議の最後に、参加した子どもたちに感想を聞いた。ここでは、その内容を紹介する。

子どもたちの感想を集約すると、概ね以下のとおり大別できた。この分類により、集計を行った結果は以下のとおりである。

【参加した子どもたちの感想】



「おもしろかった・参加してよかった」が 29.4%で最も多く、次いで「いろいろな意見を聴くことができてよかった」25.8%、「言いたいことが言えた」9.5%、「今後に活かしたい・参考になった」「中学生から小学生へのメッセージ」7.7%、「小学生から中学生へのメッセージ」6.3%、「またやってほしい・参加したい」5.4%とつづく。

次に、分類ごとの内容を小学生、中学生で分けて見ていく。

この小分類における割合は、「会議に参加しての感想」についての小学生、中学生それぞれの全感想（小学生 131 件、中学生 89 件）に対する割合となっている。

## 子どもの発言内容

分 類		割合
おもしろかった・参加してよかった		29.4%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生と一緒にしゃべれたし、会議の内容も楽しかった</li> <li>・普段は交流のない人と話ができよかった</li> <li>・もっと堅苦しい会議かと思っていたけど、楽しかった</li> <li>・先生に参加するよう言われて来たけど、来てよかった</li> <li>・色々な学校の人と話せて楽しかった。</li> <li>・大人は大人だけで会議するから、なかなか子ども意見を取り入れてくれないから、こういう会議はよかった</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	29.0%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもしろい企画だった</li> <li>・中学生どうして話し合うことはあったけど、小学生とは今までこういった機会はなかったの、おもしろかった</li> <li>・もっと堅苦しいかと思っていたけど、よかった</li> <li>・この会議に来て、みんなと同じ気持ちになった。初心に戻れた</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	30.3%
いろいろな意見を聴くことができてよかった		25.8%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人の意見を聞くと、自分と全然違うことに気付いて、色々聞いたことがよかった</li> <li>・自分の意見が言えて、人の意見も聴けてよかった。人の意見も受け入れられた</li> <li>・けんかやいじめなどについて対処できる方法が見つかって良かった</li> <li>・中学生の人がいろんな解決方法を出してくれて、よかった</li> <li>・同じ意見の子がいて、「同じやなあ」と思った</li> <li>・中学生も小学生も結構同じような考えを持っていることがわかった</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	27.5%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み前に先生に参加するよう言われていやだったけど、実際に来てみると、いい意見がいっぱい聞けてよかった</li> <li>・みんなと集まっているんな意見を言ってもらって、一緒だなおもうこともあり、みんなの意見もきけて楽しかった</li> <li>・クラブがあって、どちらに来るか迷ったけど、みんなのいろんな意見が聴けたし、小学生の意見も聴けてよかった</li> <li>・普段中学生どうして話をして、中学生の価値観があったけど、今日は小学生と話し合いをして、「違うなあ」と思うこともあったし、「同じだな」と思うこともあったので、よい経験になった</li> <li>・一つのテーマでみんなの意見を聴くことができて、貴重な体験だった</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	23.6%
言いたいことが言えた		9.5%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段言えないことがこの場で言えて、良い経験ができた</li> <li>・緊張して来たけど、和やかな雰囲気、自分の意見も言えてよかった</li> <li>・日ごろ思っていることを言えてよかった</li> <li>・今日は大人への意見を言えて、すっきりした</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	11.5%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段、言えないこと、言いにくいことが言えてよかった</li> <li>・普段思っていたことがこの場でいっぱい言えて、いろんな話が聞けてよかった</li> <li>・思っていたよりも気軽に意見を言うことができてよかった</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	6.7%

次頁に続く

分 類		割合
今後に活かしたい・参考になった		7.7%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分だけの意見ではなく、他人の意見も聴けた。なりたい大人の意見が聴けたので、他の人の意見も合わせて取り入れていきたい</li> <li>今のイメージを変えていけるような社会にしたい</li> <li>今の世の中の悪いイメージも、僕たちの世代はそういうことがないように何かできることがある（と思うことができた）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	6.9%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで中学生としての考えだけだったけど、小学生の意見も聴けたから、取り入れていきたい</li> <li>みんな同じ意見をもっていたことがわかった。それを経験として生かしていきたい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	7.9%
中学生から小学生へのメッセージ		7.7%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生が意見をたくさん言っていて、最近の小学生はすごいなあと思った</li> <li>小学生が中学生より年上に見えた</li> <li>中学生はみんなだまりこんでしまうけど、小学生は（意見がしっかり言えて）すごい</li> <li>小学生の考え方は柔軟だ</li> <li>（この会議での意見などを）小学生に役に立ててほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	19.1%
小学生から中学生へのメッセージ		6.3%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生ってどんなことを思っているんだろうって思ったけど、難しいことも考えていて面白かった</li> <li>中学生は意見がきちんとまとまっていると思った。</li> <li>中学生は大人の意見だろうと思ったけど、小学生の立場になってくれたから、話しやすくよかった</li> <li>初対面なのにやさしくしてくれた</li> <li>（中学生は）立派だなあと思った</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	10.7%
またやってほしい・参加したい		5.4%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までこういう会議がなかったけど、この会議は他の学校とも交流できるし、子どもたちで話せるから、もっと増やしてほしい</li> <li>子ども会議はほかの場所ではあまり無いと思うけど、子どもの意見も聴けるから、どんどんやったほうがいい</li> <li>大人も子どもも、同じ目線でしゃべれる機会が少ないから、こういう機会をどんどん作っていったら、みんなが納得してルールを守れるようになると思う</li> <li>次にこんな機会があったら、絶対来る</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	5.3%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>こういう場があってよかったと思うので、またこういう場をつくって、意見を言える場をつくってほしい</li> <li>意見を言える場は大切やし、もっとこういう場を増やしてほしい</li> <li>もっとこういう会議をする場を増やせば、みんなが触れ合える場になれると思う</li> <li>こうやって話せるのはいいことだし、今後もやってみたい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	5.6%

次頁に続く

分 類		割合
その他		8.1%
小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、自分たちのことを考えてくれる人がいたことがわかってよかった</li> <li>・こういう話があったということ自分のクラスの人などに知らせたい</li> <li>・思っていたものと全然違っていた。もっと堅物な会議かと思っていた</li> <li>・ちょっと(長時間で)しんどかった</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	9.2%
中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで聴いたことを大人は生かしてほしい</li> <li>・一人ひとり考え方も意見が違うけど、悪いとかよいとか、一つに限られているわけではない</li> <li>・今度は親子で参加する会議をやれば、大人に向かって(意見が)言えていいかな</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	6.7%

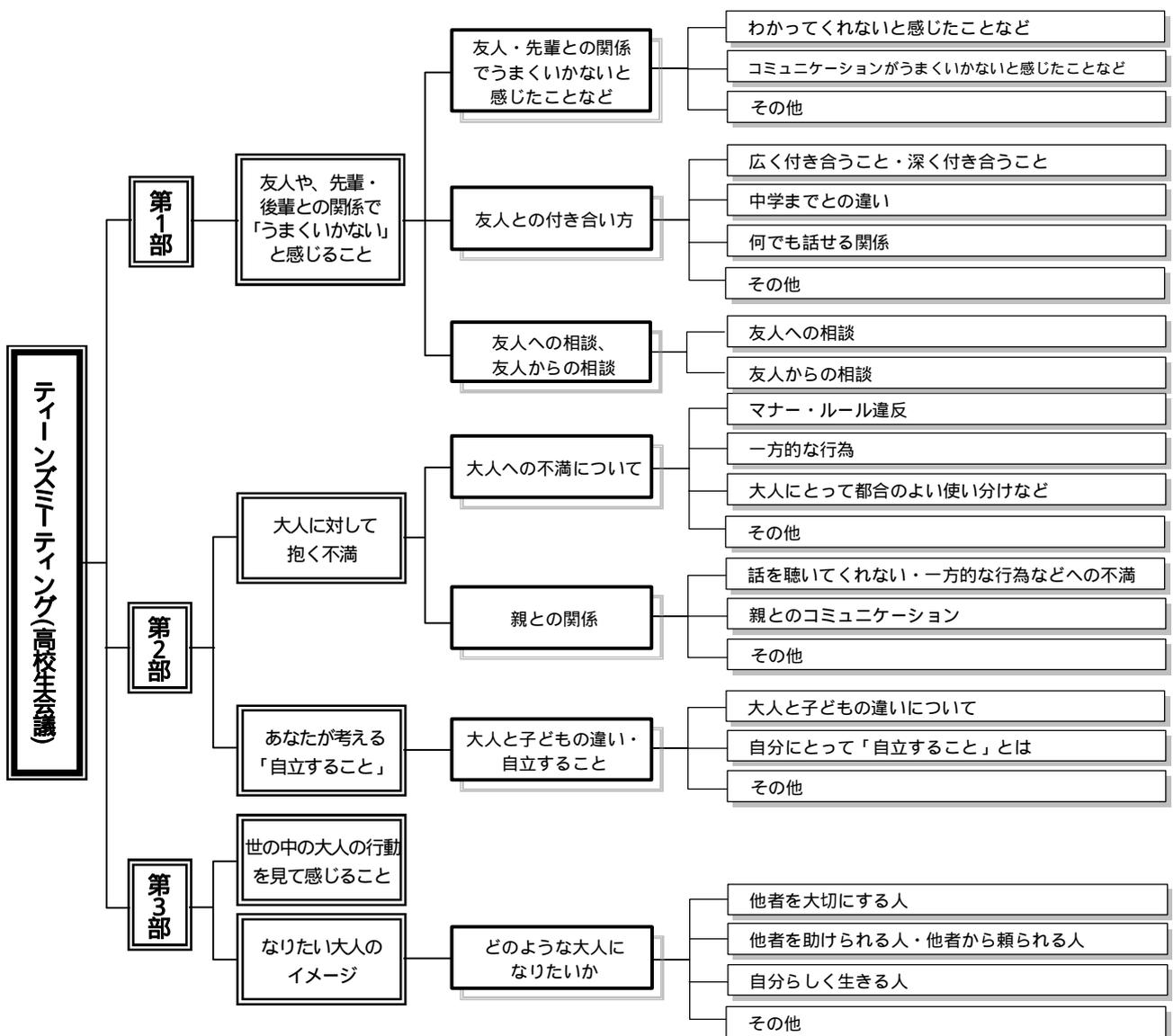
## 2. ティーンズミーティング（高校生会議）結果

「ティーンズミーティング（高校生会議）」は、複数回実施した「ティーンズミーティング（子ども会議）」とは異なり、市立高等学校4校の生徒14名の参加で、開催は1回である。

以下は、この会議に参加した高校生の発言について、テーマ別に、概ね近いと考えられる種類ごとに集約を行った結果である。また、発言内容は、個人の発言趣旨を要約したものである。

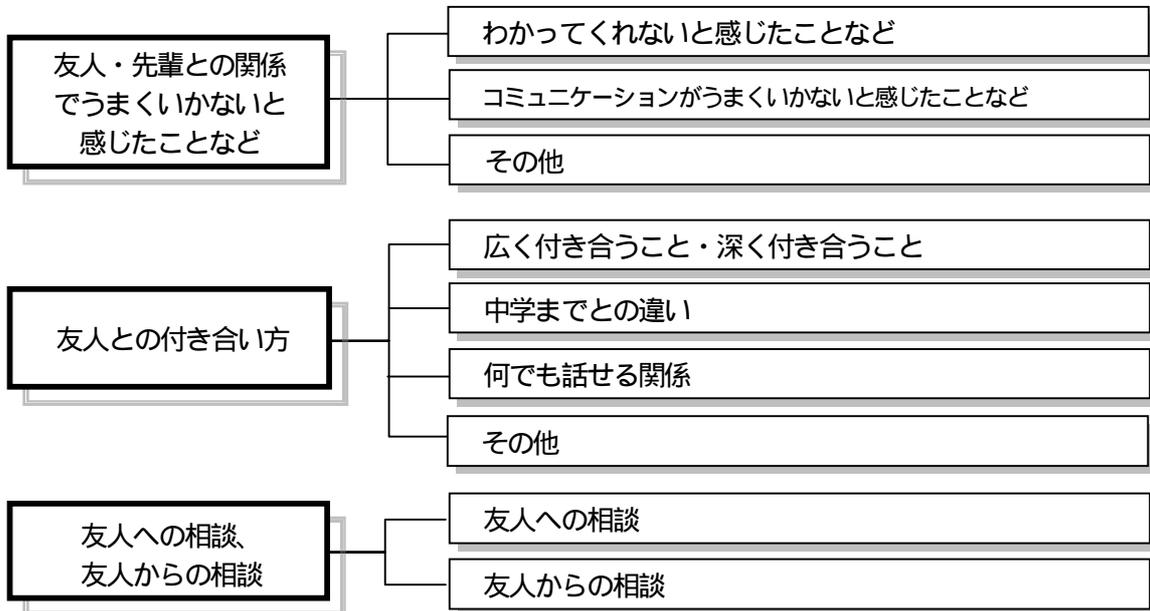
なお、事前質問の設定の趣旨、進行方法、言葉の定義等については、「1. ティーンズミーティング（子ども会議）結果」と同様である。

### ティーンズミーティング（高校生会議）で出された意見・考えの分類



# 1) 第1部「仲間どうしの関係について」

(1)「友人や、先輩・後輩との関係で、「うまくいかない」と感じることは、どのようなことですか？」



## 【友人・先輩との関係でうまくいかないと感じたことなど】

<p>わかってくれないと感じたことなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友人が「このテレビ番組を見て！」と勧めてきたけど、受験勉強で忙しくて見るができなかった。翌日、「見ていない」と言うと、「せっかく教えたのに」と気まづくなった。 【前の発言を受けて】 本当の友人なら、わかってくれる。わかってくれないのは本当の友人ではないと思う。</li> <li>中学の頃、野球の練習で、後輩の見本にならない態度を続ける同級生に、半年間、注意し続けたけど変わらなかった。自分たちだけ勝手にやるよう突き放したら、みんなでやることの大事さをわかってくれた。</li> <li>中学の頃、大きな大会に団体戦で出て、自分がんばったけど負けてしまった。そのとき「おまえのせいで負けた」と言った人たちがいた。高校生になってから、その人たちと再会したときに、そのときのことを謝ってくれた。</li> </ul>
<p>コミュニケーションがうまくいかないと感じたことなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先輩に話しかけても目を合わせてくれないとき。</li> <li>クラブで、自分が一生懸命練習をしているときは、先輩と仲が良いけど、練習をさぼっていたら冷たくされる。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲良くなりたくて、余計なことまで話すぎて、後で、相手がいやな気持ちになっていることに気がついた。それを反省して、しばらく話さないでいたら、向こうから接してきてくれた。</li> <li>友人との関係で一番いやなのは、友人が言っていることと、やっていることが違うとき。</li> </ul>

## 【友人との付き合い方】

### 広く付き合うこと・深く付き合うこと

- ・ 浅くて広い付き合いよりも、狭くて深いほうがいい。
- ・ 1人の友人と長く付き合う方が大事だと思う。
- ・ 1人の人と、深く深く付き合いっていくといいと思う。
- ・ 友人が1人では寂しいけど、多くても大変。自分でコントロールできる範囲がいい。
- ・ 長く付き合いしているから親友というわけでもなく、短期間だから親友ではないというわけでもない。
- ・ 高校に入ってから、浅い関係の友人も必要だと思ようになった。深い関係の友人とうまくいけなくなったとき、浅い関係の友人に話を聞いてもらえたら楽になることもある。
- ・ この友人とはここまで、と割り切ることもある。

### 中学までとの違い

- ・ 中学のときは、友人はそれほど大事だと思っていなかったけど、高校に入ってからいい友人と出会って、大事にしようと思うようになった。
- ・ 中学のときは無邪気に遊べるけど、高校ではいろんな中学から集まるから、まず相手の様子を見るようになり、高校になったら、考えが深まると思う。

### 何でも話せる関係

- ・ 中学からの友人がいるけど、親に話しにくいことでも、その友人には言えることがある。
- ・ 親とはあまりしゃべらないけど、友人には何人かしゃべれる人がいる。自分が友人に心を開いてしゃべったら、相手も心を開いてくれる。
- ・ 自分は、あまり心を開いて話せる人はいない。私立高校を一学期でやめたけど、まだ、そのときの友人とカラオケに行ったりはしている。

### その他

- ・ 人間関係の土台作りは難しいと思う。何年もかけて作った関係がちょっとしたことでつぶれることもある。
- ・ もしいじめられても、1人きりになったりするよりも、自分からいじめている相手に積極的にかかわる方が解決しやすいと思う。
- ・ 友人について差別はしないけど、区別する。
- ・ 友人と会ったときは、笑顔が必要。
- ・ 友人は一生ものだから大事にしたい。

## 【友人への相談、友人からの相談】

### 友人への相談

- ・ 真剣に、気持ちを込めて相談したら、相手も必ず助けてくれると思う。
- ・ ためこんでいることを聞いてもらおうと、すっきりする。

次頁に続く

## 友人からの相談

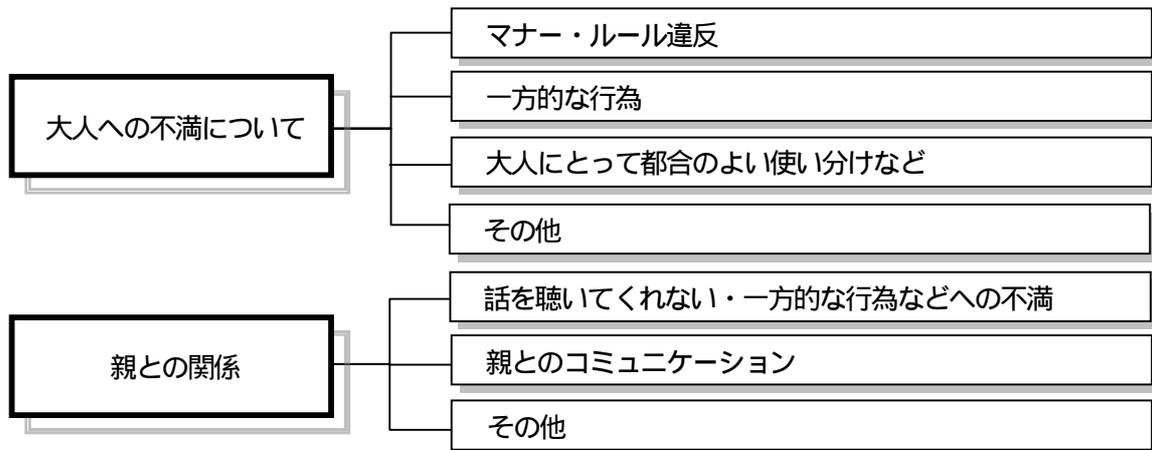
- ・ 「話だけ聞いて」と言われて聞いてあげたとき、「すっきりした。ありがとう」と言われた。頼られているように思い、うれしかった。
- ・ 友人が、困ったときに、真っ先に自分に電話をかけてくれて、うれしかった。
- ・ 困っている人は、解決できるわけではなくても、聞いてもらうだけで救われる、明るくなると思う。話すことが大事だと思う。
- ・ 相談してきたことに対しては、無責任なことはいわないで、自分の経験の中から話す。
- ・ 相談を受けて、相手の立場に立って考えても、事情を汲み取れないときは、「ここまでしかできないから、ごめんなさい」と言う。
- ・ (できるかわからないことを相談されたときは、)努力はするけど、「できないかも」と言う。「できる」と言ってできなかったら、相手の期待を裏切ることになる。
- ・ 友人が困って自分を頼ってきたら、自分ができる限りのことはするけど、いくら友人でも所詮は他人というところはあある。
- ・ お金貸してと言われるのはいや。
- ・ できないことを頼まれても、きっぱりと断る。
- ・ 相手が自分のところにわざわざ相談にきてくれたのだから、自分はどんなことでも絶対に助けるつもり。人間はできると思えば全部できると思う。できないと思うからできない。
- ・ 「助けて」、「ありがとう」と言われるのはうれしい。



ティーンズミーティング(高校生会議)の様子

## 2) 第2部「大人との関係について」

(1) 「大人に対して抱く不満には、どのようなものがありますか？」



### 【大人への不満について】

<p>マナー・ルール違反</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たち子どもには、見本になる大人が必要だけど、あまりいない。</li> <li>・ 挨拶は礼儀の基本、一番しないといけないことなのに、なぜ大人が挨拶しないのかと腹が立つ。例えば、自転車を運転しているときに、ぶつかりそうになって、自分が謝っても、大人は何も言わないことがある。</li> <li>・ 先生に挨拶をしても、言葉で挨拶を返してくれないことがあった。嫌われているのかと思った。</li> <li>・ 通学の帰りに電車で阪神ファンと合流することがある。酔って声が大きくなったり、負けたらいら立っていたりして、怖いときがある。</li> <li>・ 電車の中で騒いでいる大人を見て、自分は「絶対しない」と思うだけでもいいと思っている。</li> </ul>
<p>一方的な行為</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が正しいと思っている大人は多い。「子どもより、たくさん経験してきたから」と、頭ごなしに言われるのはいや。たくさん生きてきたから偉いとは思わない。同じ目線で言わないと相手は聞かないと思う。</li> <li>・ 大人自身ができなかったことを子どもに押し付けるのは納得がいけない。</li> </ul>
<p>大人にとって都合のよい使い分けなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大人は、ルールを守らなかつたりしても、言葉の引き出しをたくさん持っているし、そのことを隠したり、子どもを納得させたりするのは簡単。セコイなあと思うことがたくさんある。</li> <li>・ 大人にも要因があるかもしれないことを、子どものせいだけにするのは納得がいけない。</li> <li>・ 言っていることと、やっていることが違う大人が多い。</li> </ul>

次頁に続く

## その他

- ・ 大人は偉そうにしすぎ。
- ・ 少年犯罪が増えていると言われるけど、大人の犯罪も増えている。大人が悪いから子どもも悪いことをする。やってはいけないことをやっている大人もいる。
- ・ 自分の子どもが怖いのか知らないけど、自分の子どもが悪いことをしたのに、子どもをかばって学校のせいにする親がいる。どちらも悪いと思う。  
【前の発言を受けて】 誰かが悪いとかではなく、子どもがしっかりしていたらいいこと。犯罪をしてしまって、誰かのせいにするのが体が恥ずかしいことと思う。原因はどこかにあるかもしれないけど、受け止められずにやってしまったのはその人自身だから、犯罪をやったその人が悪いと思う。

## 【親との関係】

### 話を聴いてくれない・一方的な行為などへの不満

- ・ 弟とけんかしていても、親は何も聴かずに、両方が悪いと決めつける。親だからといっても、子どもの気持ちなんてわからないと思うし、子どものことは、何でも知っていると思っていることに腹が立つ。
- ・ 親は、自分が子どもだった頃のことを忘れている。子どもの目線に立たず、上からものを言う。自分が子どもだった頃はどうかだったのかと思う。
- ・ 親は、「自分が子どものときはこうだった」と言う。でも親と自分は、違う考え方をする別人。それなのに親自身の考えを押し付ける。
- ・ 親は昔、自分のやりたいことをやらせてもらったのに、子どもにはさせてくれない。
- ・ (友人とのことで) 親とは、うまくやれていない部分がある。よく自分を誘ってくれる友人がいるけど、その友人のことをよく知らないのに、一緒に遊んだらだめと言う。

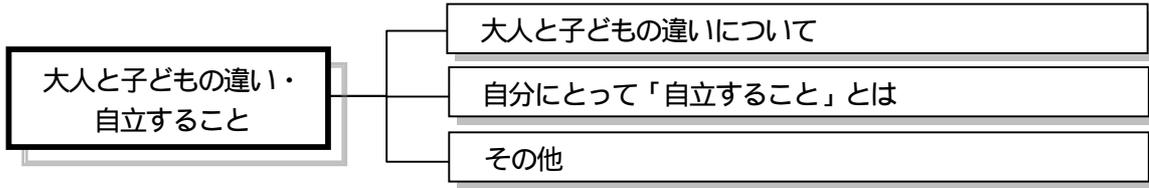
### 親とのコミュニケーション

- ・ 親は何でも知りたがりすぎる。母は、知っているはずのない友人のことで、「誰？」と聞いてくる。なぜ、そこまで知りたいのかわからない。
- ・ (親のことで、悪いことの発言が多いが) 会話がしたいから話しかけてくるということをわかってあげたいし、聞いてくる理由があるはず。それがいやなら親から離れればいい。家にいるのは、親を必要としているからでは。  
【前の発言を受けて】 親は積極的に子どもとコミュニケーションをとろうとしていると思う。  
【前の発言を受けて】 自分から親に積極的に話しかけても「だから何？」と言われたら、腹が立つ。親って結局何なのかと思う。  
【前の発言を受けて】 自分の母は、しっかり考えてくれて、自分の話を受け止めてくれる。親子の両方が向き合っていくしかない。むかつくこともあっても、少し我慢してあげたら、違う会話ができるかもしれない。友人とは離れても、親とは離れられない。
- ・ 自分は、友人どうして自分の心を見せるように、親とも接したらいと思う。
- ・ 父と母では怒るポイントが違う。帰りが遅いときは、母はピンタするくらい怒る。父は「お母さんがなぜ怒ったのかわかるな」と言う。そういう怒り方はいいなと思う。そう言われたら、母の気持ちを考えられる。

## その他

- ・ 自分の家庭は「我が道を貫け」という感じ。苦しいこともあるかもしれないけど、自分の生きたいように自分で選べる。そう言ってくれる親に満足している。

(2)「あなたが考える「自立すること」とは、どのようなことですか？」



【大人と子どもの違い・自立すること】

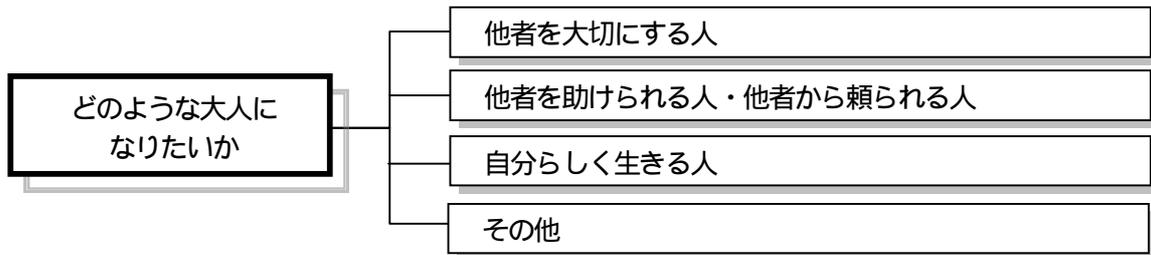
<p>大人と子どもの違いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園児や小学生は、親に頼らないと生きていけないけど、高校生ぐらいになれば1人暮らしの人もある。大人と子どもの違いはなくせばいいと思う。周りに決められたくない。</li> <li>自分はまだ親に頼っているから、子どもだと思う。社会に出て給料をもらって、自分の力で生きていけるようになったら大人だと思う。 【前の発言を受けて】 給料もらっているだけで大人とは言えないのでは。子どもっぽい大人もいる。 【前の発言を受けて】 子どもでも周りのことを考えられる。でも、電車の中で騒ぐ大人など、周りの人のことが見えていない、周りの人のことを考えていない大人はいる。そういう大人は子どもっぽいと思う。</li> <li>大人は、普段は理性をかぶっていて、今は騒いだらだめとか、しっかりしていないといけないと思っているけど、大人は、子どもの延長上にあると思う。 【前の発言を受けて】 子どもも同じことをしていると思う。 【前の発言を受けて】 子どもも理性をかぶって我慢したりしていると思う。</li> <li>親が一番身近な大人だから、気を遣わないけど、親に気遣いができるようになったら大人だと思う。 【前の発言を受けて】 子どもでも、親に気遣いをしようと思うことはあるけど、行動にはなかなか移せない。それができるようになったら大人だと思う。</li> </ul>
<p>自分にとって「自立すること」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の言動に責任を持ち、周りに迷惑をかけないこと。</li> <li>自分のことは自分で管理する。</li> <li>親に迷惑をかけない。責任をとる。</li> <li>人のことをわかってあげる。人のために動けるようになったら自立と思う。</li> <li>人をあてにしないで、自分ができることを、自分の力ですること。</li> <li>みんなの前で自分の思っていることが言えたり、人の意見に流されたりせず、芯がしっかりしていること。</li> <li>迷惑をかけないようにしようと思っても、迷惑をかけることはある。あまり迷惑をかけないように、一生懸命やっていたら少しずつ自立していけると思う。</li> <li>判断や気遣いがしっかりできるようになったら自立。</li> <li>100%誰かに頼らないでいくことはできない。高校卒業後、働いて身の回りのこともでき、自分の給料で生活していけるようになったら自立。</li> <li>自分の意見に責任を持つ。親に頼っているからといって自立していないわけではない。自分だけで解決できることはする。</li> <li>まず親離れて、法律上の大人の年齢と自分の意識とが重なったときが自立。</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>完璧な大人なんていない。</li> <li>よく考えていない大人もいる。</li> </ul>

### 3) 第3部「よりよい社会をめざして」

(1)「世の中の大人の行動などを見て、どのように感じますか？」

(2)「あなたは、どのような大人になりたいですか？」

(1)「世の中の大人の行動を見て、どのように感じるか？」については、第2部「大人への不満」で、多くの意見交換があったため、第3部では、第1部、第2部の意見交換等をふまえ、「よりよい社会をつくっていくためには、自分自身がどのような大人になりたいか」ということを中心に意見交換を行った。



#### 【どのような大人になりたいか】

他者を大切にする人
<ul style="list-style-type: none"><li>相手のことを第一に考えて、自分の利益は2番目、3番目に考えて接したい。自分がそのように接していたら、相手もわかってくれて、自分にそうしてくれると思う。相手の気持ちを立てて、対応していく。子どもが生まれたら子ども第一に考えたい。</li><li>自分の視野を広げ、人の意見も取り入れて、自分もみんなも気持ちよく、楽しく生活できるような人になりたい。</li><li>自分のことしか考えていない人がいるので、周りの人にも目を向けられるような人になりたい。</li><li>人の言うことがしっかりと聴ける人になりたい。</li><li>もし子どもが生まれて親になったら、自分と同じ思いをさせたくないから、自分から聞き出すのではなく、子どもが話してきたら聴いてあげるようにしたい。</li></ul>
他者を助けられる人・他者から頼られる人
<ul style="list-style-type: none"><li>頼られるような人になりたい。</li><li>社会的に弱い立場にいる人を助けようということを訴えるような先生がいた。尊敬していたので、自分もそういうときに、助けてあげられるような人になりたい。</li><li>誰かが困っていたら何げなく声をかけて助けられる人。</li><li>大金持ちになりたい。友人から助けてほしいと言われたら、「いいよ」と言いたい。一番必要だけど、一番嫌いなのはお金。でもお金で困っている人を見たくない。</li></ul>
自分らしく生きる人
<ul style="list-style-type: none"><li>責任感を持ち、また、常に向上心を持って、自分の意思を持っていきたい。</li><li>自分の意思をしっかりと持った人。</li><li>自分の意見が言える人になりたい。</li></ul>

次頁に続く

## その他

- ・ 悪いことをするという事は、悪い方に流されるということだと思うから、善悪を判断でき、悪いことは注意できる大人になりたい。
- ・ 一生続くと思う友人とは、仲良くしていきたい。
- ・ 社会に出て働いてからも、地域の人とも楽しくかわりたい。助けられ、助けつつ暮らしていきたい。
- ・ 仕事もがんばって、「今、幸せだな」と思える大人。
- ・ すべての人に対等に接する人になりたい。

## 4) 共通の質問項目以外の発言内容

第3部では、論議に先立ち、冒頭に、世の中で不公平と思うことについて、参加者どうして若干の意見交換があったので紹介する。

### 【不公平と思うことについて】

- ・ 男女差別の解消には、女性の地位を上げて、みんな平等にしていこうということがあると思うけど、中には、女性専用車両や、レディース・デイなど、過剰サービスに思うものもある。男性からすれば不公平に思う。
- ・ 痴漢防止のためなら女性専用車両は仕方ないかもしれないけど、レディース・デイを設けるなら、男性専用の日もあるべき。
- ・ 女性の視点から見ても、レディース・デイがどうしてあるのかと思う。
- ・ 女性が社会で力をつけていくことはいいことだと思うけど、格差をなくそうとしているのに、女性だけに過剰サービスをしている部分もあるのではないか。
- ・ 男女格差を無くそうとしているのに、差をつけているのは意味がわからない。
- ・ 電車料金は中学生から大人になるのも疑問。料金は大人なのに、何かあったら自分たちを子ども扱いするのは、納得できない。
- ・ 高校生になっても経済的には何もできない。アルバイトをしていない人もいるから、そういうことを大人は考えてほしい。
- ・ (一人ひとりが大切にされて、すみやすい社会をめざすには)立場が上の方は、弱い立場にいる人の意見を聴いて実行していく努力をすることが大事だと思う。

上記の意見交換に関し、男女平等に向けての取組みなどについて、ファシリテーターが、その場で説明した。

## 尼崎市 子ども会議 - ティーンズミーティング - 報告書

---

平成 18 年 11 月

### 編集・発行

尼崎市子どもに関する条例等検討調整会議（事務局 健康福祉局児童福祉部児童企画課）

〒660 - 8501 尼崎市東七松町 1 丁目 23 番 1 号

電話 06-6489-6341 FAX 06-6489-6373

E-mail [ama-jidoukikaku@city.amagasaki.hyogo.jp](mailto:ama-jidoukikaku@city.amagasaki.hyogo.jp)

### 調査・分析

株式会社 関西計画技術研究所